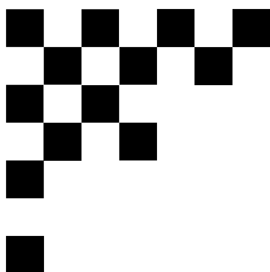
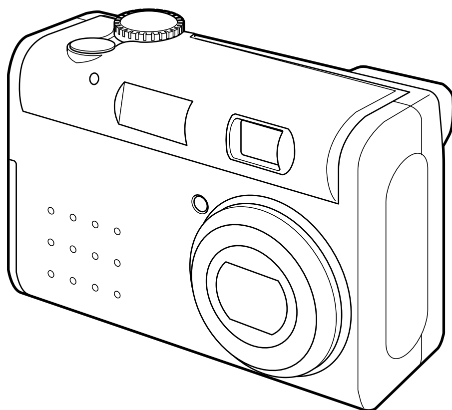
Konica

デジタルスチルカメラ

Digital Revio
KD-210Z

ユーザーズガイド





お買い上げいただきありがとうございます。
このユーザーズガイドと保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになったあとも大切に保管してください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめてから販売店よりお受け取りください。

商標について

- Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows XP は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、QuickTime、Power PC は、米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SD ロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをお願い致します。

注）　本書内ではボタン操作などがわかりやすいようにイラスト表示しておりますので、実際の商品のボタンレイアウトと一部異なる部分がございます。

目次

第４章　基本再生（▶/PLAY）

第５章　応用再生／消去（▶/PLAY）

第６章　応用操作（SET/SET UP）

第７章　ソフトのインストールとパソコンへの画像転送

第８章　付録

安全上のご注意　＊必ずお守りください

本製品は安全性には十分配慮していますが、下記の表示マークおよび警告･注意に関する記載をよくお読みになった上で正しくお使いください。
下記の表示マークは、万一障害や損害を与えることのないように、正しく製品をご使用いただくための警告表示マーク・注意表示マークです。

表示マークの意味

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告

この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

⚠ このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意　＊必ずお守りください

⚠ 警告



次の場合は、直ちに使用を中止し、電池やACアダプターを取り外してください。ACアダプターを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、販売店へご相談ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

●煙が出ている、カメラが異常に熱くなる、変な臭いや音がするなどの異常状態のとき
●機器の内部に水などが入ったとき
●異物が機器の中に入ったとき



分解や改造、ご自身での修理はしないでください。
火災や感電の原因となります。
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。



水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
水が入ったと思われるときは、直ちに使用をやめ、販売店にご相談ください。



内部に金属物や燃えやすいものを落としたり、入れたりしないでください。
内部に金属物などが入ると、火災や感電、故障の原因となります。



自動車など乗り物を運転しながらの使用は絶対にしないでください。
交通事故誘発の原因となります。
歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。



不安定な状態で使用しないでください。
特に高所の場合、転落すると、死亡や大ケガの原因となります。



ファインダーで直接太陽を見ないでください。
失明や視力障害の原因となります。



雷が鳴り出したら本機の金属部に触れないでください。
落雷すると、誘電雷により感電死の原因となります。

安全上のご注意　　*必ずお守りください

⚠警告



指定外のACアダプターを使用しないでください。
指定外のものを使用すると火災の原因となります。



電池の分解、ショート、加工（ハンダ付けなど）、加熱、加圧（釘で刺すなど）、火中への投入などしないでください。また、他の金属物（針金やネックレスなど）に接触させないでください。
液もれ、発熱、発火、破裂のおそれがあります。

⚠注意



レンズを太陽や強い光源に向けないでください。
集光により、内部部品の破損の原因となり、そのまま使用するとショートや絶縁不良で発熱し、火災のおそれがあります。



電池／カード蓋に指を挟まないようにご注意ください。
挟まれると、ケガをするおそれがあります。



飛行機内で使用するときは、航空会社の指示に従ってください。
本機が出す電波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。



次の場所には放置しないでください。

- **強い直射日光が当たる所や、車の中など高温になる場所。**
  火災や破裂のおそれがあります。
- **乳幼児の手の届きやすいところ。**
  ストラップが首に巻きついて窒息する、電池やSDメモリーカードなどの付属品を飲み込むなどのおそれがあります。
- **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。**
  頭や足の上などに落下すると、ケガにつながるだけでなく、故障の原因ともなります。
- **油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多い所、振動が激しい所。**
  内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、発熱や火災、感電の原因となります。

安全上のご注意　＊必ずお守りください

⚠ 注意



無理な操作を行わないでください。
機器が破損してケガの原因となります。



目に近づけてフラッシュを発光させないでください。
目を痛める危険があります。



電池を入れるときは、＋・－の向きを確かめ、正しく入れてください。
間違えると、電池が発熱、破裂、液もれなどを起こし、やけど、ケガをする危険があります。



汗や油で汚れた電池は使用しないでください。
もし汚れていたら、電池の電極部分を乾いた布で良く拭いてから使用してください。



カメラのお手入れをするときは、安全のためACアダプターを外してください。



長時間ご使用にならないときは、電池を取り外してください。



小児が使用する際は、保護者が正しい使用方法を十分に教えてください。
ケガの原因となることがあります。



三脚に取り付ける場合、カメラを回して付けないでください。

電池の液もれ処理について
●万一、液もれが発生したり、液が手や衣服に付着したときは、すぐに水でよく洗い流してください。
●目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。

液晶モニターについてのご注意

- 液晶モニターは、液晶の特性上、温度変化などで明るさに多少のムラが出ることがあります。
- 液晶モニターは、高精度な技術を駆使して開発されており、鮮明度・画質等に優れておりますが、画面の一部にドット欠けや、常時点灯するドットが存在する場合があります（故障ではありません）。予めご了承ください。
- 万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので、十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

SD メモリーカード / マルチメディアカードについて

本カメラでは、同梱しているSDメモリーカードのほかに、マルチメディアカードをご使用いただくことができます。

⚠ 注意

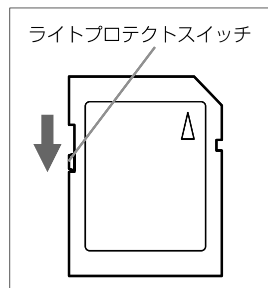
SDメモリーカード/マルチメディアカードは精密な電子部品で作られています。次のような操作は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

- 端子部に、手や金属で触れないでください。静電気によって部品に損傷が生じるおそれがあります。SDメモリーカード/マルチメディアカードを扱う前に、必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電させてください。
- 曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- 熱・水分・直射日光を避けて使用、保管してください。
- 読み込みや書き込みが終了するまでは、絶対に電池／カード蓋を開けないでください。また、SD メモリーカード / マルチメディアカードを抜かないでください。
- 分解や改造はしないでください。



重要

- マルチメディアカードを使用した場合は、SDメモリーカードに比べて、撮影・再生時の動作応答時間が低下しますが、カード自体の仕様に基づくものですので、故障ではありません。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチを下にスライドすると、カードへのデータ書き込みが禁止され、カードに保存されている画像などのデータが保護されます。
  また、ライトプロテクトがかかっているカードを使っての撮影や消去などはできません。
  使用した場合には、ファインダーLEDとブザー音でお知らせします。（p.22 参照）



- 大容量のカードを使用する場合、カードチェックや消去が遅くなる場合があります。
- 大切なデータは必ずバックアップを取ってください。
- SD メモリーカード / マルチメディアカードをパソコンで使用する際、SD メモリーカード/マルチメディアカードに保存されているファイル（画像データ）の属性（読み取り専用）を変更しないでください。カメラで削除などの操作を実行したときに、正常な動作ができない場合があります。
- パソコンでSDメモリーカード/マルチメディアカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。そのSDメモリーカード/マルチメディアカードを入れても、変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できないばかりでなく、カメラの機能に障害を起こすことがあります。
  また、カメラによって消去されてしまうことがあります。
- SDメモリーカード/マルチメディアカードのフォーマットは、必ずカメラ本体で行ってください。パソコンでフォーマットした場合、SDメモリーカード/マルチメディアカードが正常に使用できなくなることがあります。
- 誤動作や故障などにより、記録内容が失われる場合がございますが、これによる損害賠償等の責任を当社では一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

● **事前に試し撮りをしてください。**
大切な撮影（結婚式など）の前には必ず試し撮りをし、正常に撮影されていることをご確認ください。

● **撮影内容の保証はできません。**
本製品およびSDメモリーカード/マルチメディアカードの不具合で撮影されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

● **著作権にご留意ください。**
あなたが撮影したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があります。

本製品の電源方式

1. 電池（カメラ店などでお求めください）
● 単３形アルカリ乾電池（２本／付属品）
● 充電式単３形ニッケル水素電池（２本／別売品）
● CR-V3 リチウム電池（１本／別売品）

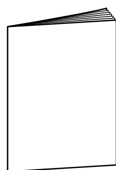
【注意】●単３形リチウム電池、マンガン乾電池は使えません。
●古い電池と新しい電池を混在して使用しないで下さい。
●アルカリ電池は銘柄によって、また同じ銘柄でも推奨使用期限、使用環境温度により、内部抵抗や容量に差が生じるため、寿命が極端に短くなる場合があります。出来るだけ低温時でのご使用を避け、新品の電池をご使用することをおすすめします。
●電池の＋－電極に油や皮脂などの汚れがあると、接触が悪くなり、寿命が低下することがありますので、乾いた柔らかい布でよく拭いてからご使用下さい。
●電池蓋や室内の金属接片に油や皮脂などの汚れがあると、、接触が悪くなり、寿命が低下することがありますので、接片部分には触らないようにお願いします。もしも触ってしまった場合や、寿命が低下してきた場合には、乾いた柔らかい布でよく拭いてからご使用下さい。
●充電式電池をご使用になる場合は、電池および充電器の取扱説明書をよくお読みの上、注意に従ってお使いください。
●充電式電池をご購入後、初めてお使いの場合、電池の特性により十分に充電されないことがあります。
●カメラでは充電できません。

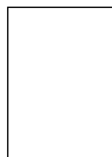
2. ご家庭の電源コンセント
● AC アダプター（ 別売／型番：DR-AC2）をつなぎます。

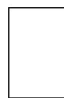
第1章　準備

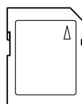
梱包内容を確認する

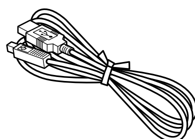
付属品

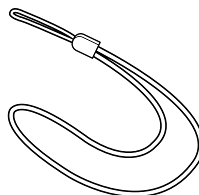

○クイックガイド

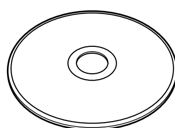

○コニカカード


○保証書

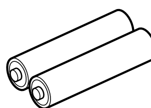

○SDメモリーカード8MB（1枚）


○USBケーブル


○ストラップ


○CD-ROM

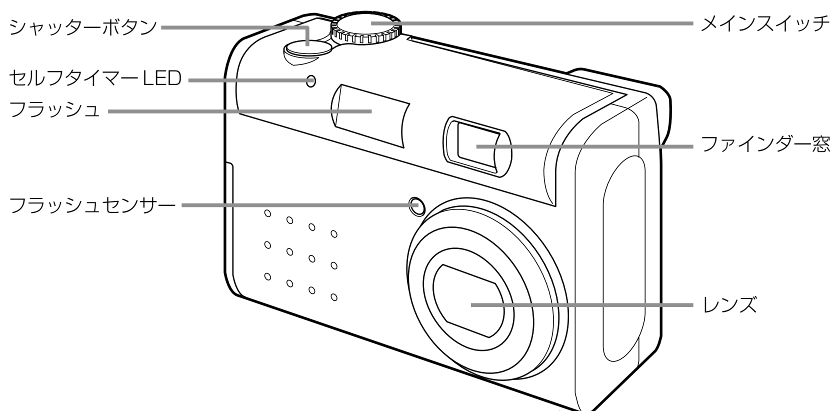
- ドライバーソフト（Windows98/98SE）
- QuickTime（Windows）
- Adobe Acrobat Reader（Windows/Macintosh）
- KD-210Zユーザーズガイド（Windows/Macintosh）


○単3形アルカリ乾電池（2本）

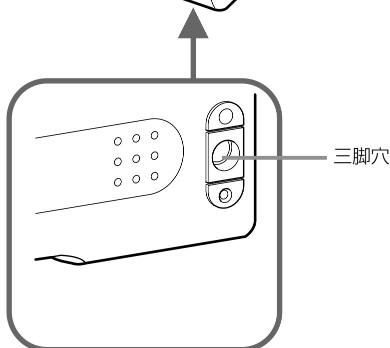
別売品

●ACアダプター（型番：DR-AC2）
●専用カメラケース（型番：DR-CC1）

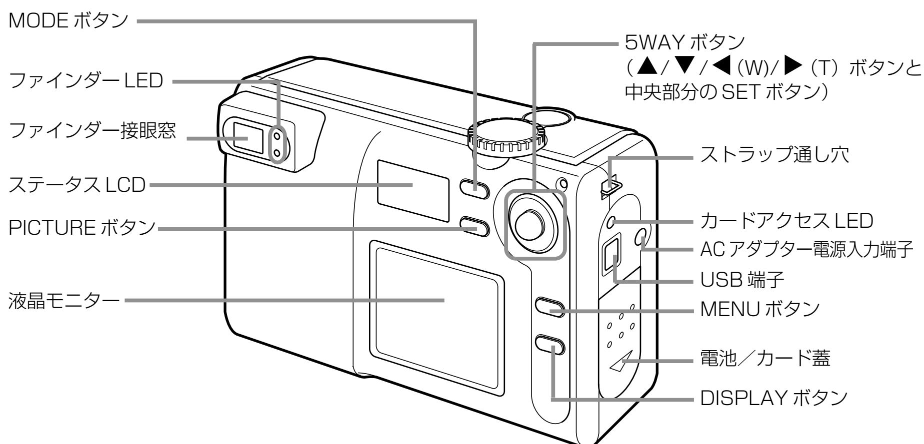
各部の名称



シャッターボタン
セルフタイマー LED
フラッシュ
フラッシュセンサー
メインスイッチ
ファインダー窓
レンズ

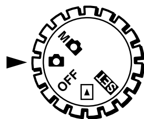


三脚穴



MODE ボタン
ファインダー LED
ファインダー接眼窓
ステータス LCD
PICTURE ボタン
液晶モニター
5WAY ボタン
（▲/▼/◀(W)/▶（T）ボタンと
中央部分の SET ボタン）
ストラップ通し穴
カードアクセス LED
AC アダプター電源入力端子
USB 端子
MENU ボタン
電池／カード蓋
DISPLAY ボタン

メインスイッチ



M📷　マニュアル撮影モード（M-REC）

マニュアル設定での撮影をすることができます。

📷　オート撮影モード（REC）

初期出荷状態で撮影することができます。

OFF　電源オフ

メインスイッチをオフにします。

▶　再生モード（PLAY）

液晶モニターに撮影した画像を再生します。

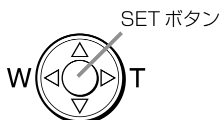
SET　セットアップモード（SET UP）

各種設定を切り替えることができます。

参考：

* 初期出荷状態については p.45 の「初期設定とは」を参照してください。また、撮影モード（p.15）や画質モード（p.15）は自由に選択できます。

5WAY ボタン



ズーム操作、メニュー操作に使用します。中央部の押し込みで SET ボタンとなります。

MENU/DISPLAY ボタン

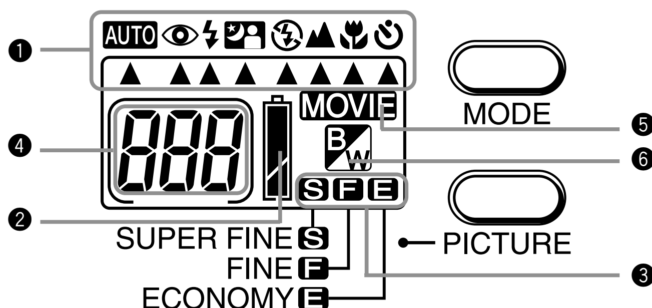
MENU ボタン

各モードにおいてメニューを表示します。

DISPLAY ボタン

マニュアル撮影モード（**M**📷）、オート撮影モード（📷）時に DISPLAY ボタンを押すと、液晶モニターを使用して撮影することができます。

ステータスLCD



❶ 撮影モード

MODEボタンを押して、下記の撮影モードを選択することによって、被写体に最も適した状態で撮影することができます。8種のアイコンを使い、14種のモードを選択することができます。

AUTO （自動撮影）モード
AUTO 👁 （フラッシュ赤目軽減自動発光）モード
⚡ （フラッシュ強制発光）モード
（ポートレート夜景）モード
（フラッシュ発光禁止）モード
▲ （遠景撮影）モード
（マクロ撮影）モード
（セルフタイマー）モード

各モードの詳細については、第2章「基本撮影」を参照してください。

❷ 電池残量

電池を使用している場合に、電池の残量を3段階（フル：、半分：、空：）で表示します。

❸ 画質モード

PICTUREボタンを押して、撮影する画像データの画質を3種の中から選択することができます。

S SUPER FINE　F FINE　E ECONOMY

❹ 残りコマ数

撮影可能な残りコマ数を表示します。ムービー撮影時には、15秒間の動画撮影可能回数を表示します。また、パソコンとの接続時には「PC」と表示されます。

❺ MOVIE

ムービー撮影を設定したとき点灯します。

❻ B/W

白黒撮影を設定したとき点灯します。

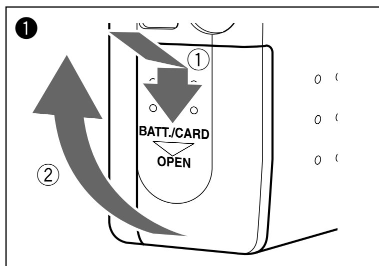
電池／ACアダプター（別売）を取り付ける

メインスイッチはOFFにしておいてください。

単３形乾電池の場合

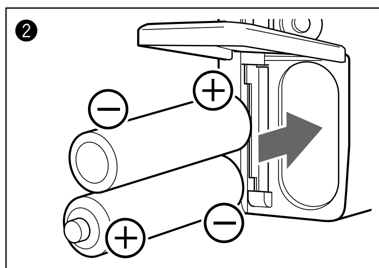
❶ ▼方向に電池／カード蓋をスライドさせ開きます。


警告：濡れた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。



❷ 単３形乾電池（２本）を電池室内部の表示（＋、－）にあわせて、正しい向きで入れます。


注意：＋、－の向きを間違えて入れると、液もれや発熱などにより、ケガや汚損、あるいはカメラが損傷するおそれがあります。



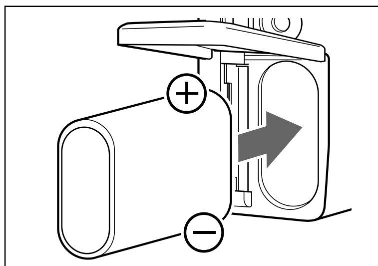
❸ 電池が正しく装着されたことを確認した後、電池／カード蓋を閉めます。最後まで確実に閉めてください。

参考：

* 使用可能な単３形電池には、単３形アルカリ乾電池、単３形ニッケル水素電池があります。
* 単3形アルカリ乾電池をご使用の場合、電池寿命の目安は撮影可能枚数が約130枚（液晶モニターON時）、約260枚（液晶モニターOFF時）、連続再生時間が約65分です。（いずれも弊社試験条件下。p.17参照）
* ステータスLCDの電池残量表示が下半分になったら交換時期です。単３形乾電池を交換する場合は、２本同時に新しい電池と交換してください。また、外出の際には、予備の電池を携帯することをお薦めします。

CR-V3リチウム電池（別売品）の場合

● 図のように正しい方向で電池を挿入します。



[電池寿命の目安（参考）]

	撮影（液晶モニターON時）	撮影（液晶モニターOFF時）	連続再生時間
単３形アルカリ乾電池	約 130 枚	約 260 枚	約 65 分
単３形ニッケル水素充電池	約 200 枚	約 400 枚	約 75 分
CR-V3 リチウム電池	約 500 枚	約 1,250 枚	約 300 分

＊弊社試験条件　（常温常湿／画質：スーパーファインモード／フラッシュ：２回に１回フル発光／撮影動作：20 秒間隔での連続撮影／ズーム動作：撮影ごとに毎回片道）

注意：

* 電池寿命はブランドやグレードにより異なります。
* 電池はできるだけ新しいものをお使いください。
* 上記数値は参考値であり、保証値ではありません。特にアルカリ乾電池をご使用の場合、ご使用の電池・条件によって上記目安の半分程度になる可能性もございます。（p.11 参照）
* 電池の＋－電極に油や皮脂などの汚れがあると、接触が悪くなり、寿命が低下することがありますので、乾いた柔らかい布でよく拭いてからご使用下さい。
* 電池蓋や室内の金属接片に油や皮脂などの汚れがあると、接触が悪くなり、寿命が低下することがありますので、接片部分には触らないようにお願いします。もしも触ってしまった場合や、寿命が低下してきた場合には、乾いた柔らかい布でよく拭いてからご使用下さい。
* 以下の条件では撮影をしなくても電力消費していますので、撮影可能枚数が減少することがあります。
  ・何回もシャッターボタンを半押しし、フォーカス動作を繰り返す。
  ・ズーム動作を繰り返す。
  ・再生モードで長時間液晶モニターを点灯する。
  ・パソコンとの通信時。
* 古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
* 充電された電池と放電した電池を一緒に使用しないでください。
* 異なる容量、種類、銘柄の電池を一緒に使用しないでください。



警告：電池を使って長時間連続使用した後は、電池が熱くなっていますので、やけどをする危険があります。

AC アダプター（別売）の場合

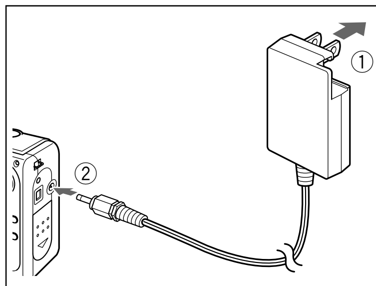
● ACアダプターをAC100Vのコンセントに差し込みます（①）。続いて、カメラ側のAC アダプター電源入力端子に、AC アダプターの電源ケーブルを接続します（②）。



AC アダプターの取り扱いについて

● **本書の「安全上のご注意」（p.6、7、８参照）を必ずお読みください。**

● **AC アダプターは、必ず専用のもの（DR-AC2）を使用してください。指定以外のものを使用すると、故障や火災、感電のおそれがあります。**



SD メモリーカード／マルチメディアカードを挿入する／取り出す

SD メモリーカード／マルチメディアカードの用途・取り扱い

● SD メモリーカード／マルチメディアカードは、撮影画像の保存の他にパソコンへのデータ転送にも使用することができます（第７章「ソフトのインストールとパソコンへの画像転送」(p.69) 参照）。取り扱いについては、「SD メモリーカード／マルチメディアカードについて」(p.9) をご覧ください。

準備

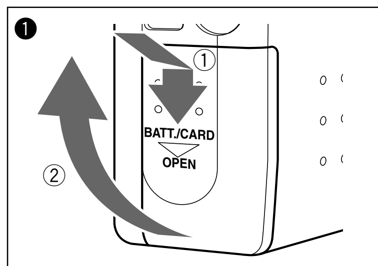
● メインスイッチがOFFになっていることを確認してください。メインスイッチが入っていると、カメラ本体やSD メモリーカード／マルチメディアカードが破壊されるおそれがあります。

挿入する

❶ 電池／カード蓋を開けます。

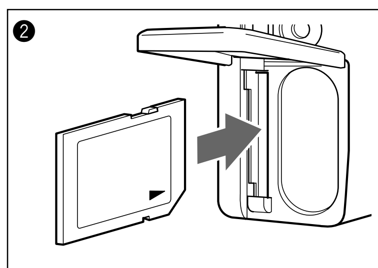
❷ SDメモリーカード／マルチメディアカードのラベルをカメラの前面側に向け、ラベル上の ▲ マークを挿入口に向けて、カチッと音がするまで押し込みます。
カードはロックされます。

❸ 電池／カード蓋を閉めます。





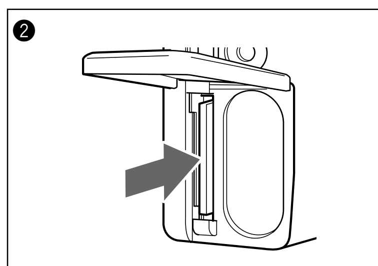
* SDメモリーカードは、裏表／上下の方向を間違えると、挿入、ロックができません。
* マルチメディアカードは、裏表／上下の方向を間違えて挿入すると、カードが飛び出した状態でロックし、電池／カード蓋が閉められません。
* SD メモリーカード／マルチメディアカードの向きを間違えて強引に差し込むと、コネクタ部が破壊されてしまいます。



取り出す

❶ 電池／カード蓋を開けます。

❷ 挿入されているSDメモリーカード／マルチメディアカードを、押し込みます。
ロックがはずれ、カードが出てきます。
（Push-Push 方式）



❸ 電池／カード蓋を閉めます。

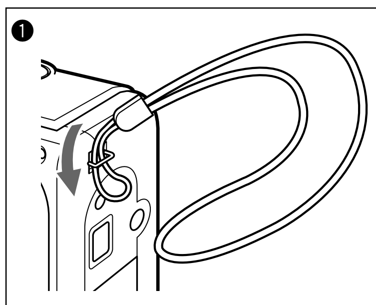
* SD メモリーカード／マルチメディアカードの抜き差しは、必ずメインスイッチをOFFにセットし、カードアクセスLEDが消灯していることを確認してから行ってください。カードLEDが点灯中に電池／カード蓋を開けると、カードへのアクセスが中断され、動作が正常に行われないことがあります。

* 撮影画像の書き込み中、カードLEDが点灯します。ランプ点灯中は、電池／カード蓋を開けたり、SDメモリーカード／マルチメディアカードを取り出さないでください。書き込みが中断され動作が正常に行われなくなるだけでなく、カードが使用できなくなる場合があります。

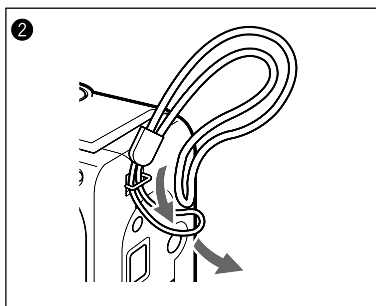
1 準備

ストラップを取り付ける

❶ カメラ右側面のストラップ通し穴に、ストラップの細く短い方を通します。
ストラップの先が出にくい場合は、つまようじのようなもので引き出します。



❷ 通したストラップの輪に、もう一方の端を通して、引っ張ります。



警告：ストラップを取り付けて使用するときは、ストラップが首に巻き付かないように注意してください。特に幼児・児童の首にかけないでください。誤って巻き付くと窒息する危険があります。

* ストラップでカメラをぶら下げて持ち運ぶ場合は、カメラをぶつけないよう注意してください。
* ストラップを取り付ける際、カメラを落とす可能性があります。落とした場合、故障の原因となる恐れがあります。ストラップを取り付ける際は、カメラを安定した場所に置いて行ってください。

メニューの表示言語と日付・時刻を合わせる

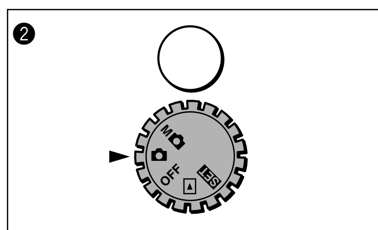
カメラをご購入後はじめて使用するときは、以下の手順でメニューの表示言語と日付・時刻の設定をしてください。設定できる範囲は、2001年1月1日から2035年12月31日です。（ここでは、2001年1月1日0時00分から2002年8月14日10時30分に設定する例を示します。）

参考：

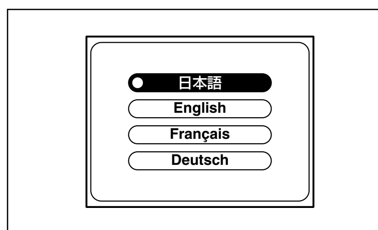
* メニューの言語、日付・時刻の設定内容は、バックアップコンデンサによって保持されます。カメラ駆動用の単3形乾電池・リチウム電池を交換しても設定内容は失われることはありません。

⚠ * **電池交換時のバックアップ可能時間は約15分です。**

❶ 新しい電池か充分に充電された電池、またはACアダプターが装着されていることを確認します。



❷ メインスイッチを📷にセットします。
液晶モニターが点灯し、言語設定画面が表示されます。



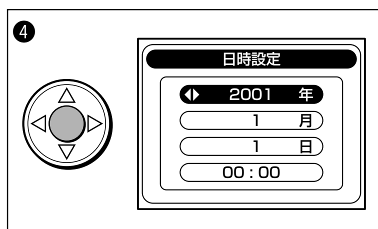
参考：

* メインスイッチをOFF以外のM📷、▶、SETにセットしても、同様の設定画面が表示されます。

❸ ▲、▼ボタンを押してお好きな言語を選択し、SETボタンを押します。
言語選択の確認画面が表示されます。



❹ ◀ボタンを押して「はい」を選択し、SETボタンを押します。
選んだ言語が決定され、日時設定画面が表示されます。



参考：

* 「いいえ」を選択し、SETボタンを押すと、❷の画面に戻ります。

❺「年（西暦)」が選択されています。
◀、▶ボタンを押して「年（西暦)」を合わせます。

❻▼ ボタンを押して「月」を選択し、◀、▶ボタンを押して「月」を合わせます。

❼▼ ボタンを押して「日」を選択し、◀、▶ボタンを押して「日」を合わせます。

❽▼ボタンを押して「時刻（時)」を選択し、◀、▶ボタンを押して「時刻（時)」を合わせます。

❾▼ボタンを押して「時刻（分)」を選択し、◀、▶ボタンを押して「時刻（分)」を合わせます。

参考：

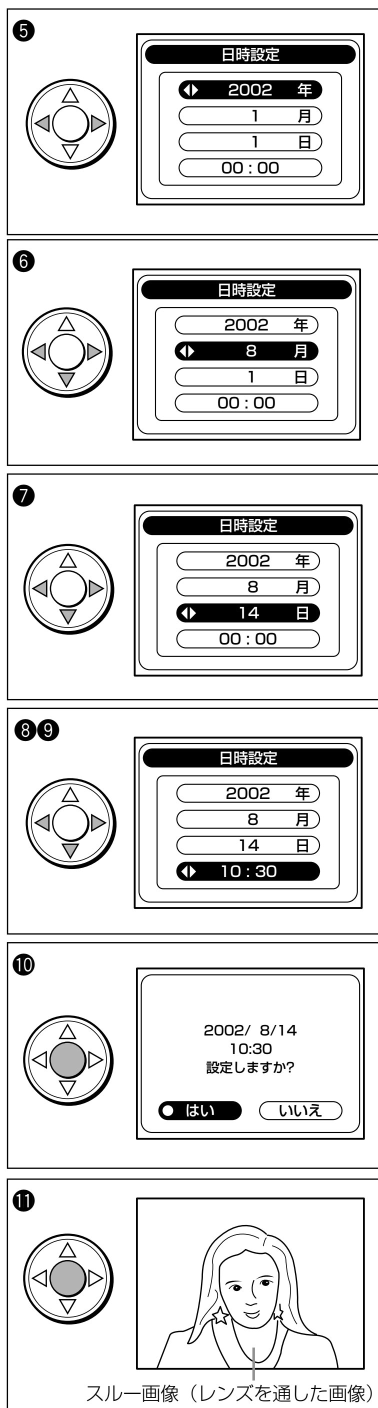
* ステップ❻から❾で各項目（「月」「日」「時刻」）を選択する場合、▲、▼ ボタンを押して前の設定画面に戻り、選択しなおすことができます。

❿ SET ボタンを押します。
日時設定の確認画面が表示されます。

⓫ 再度 SET ボタンを押します。
設定値が保存され、液晶モニターにスルー画像（レンズを通した画像）が表示されます。

参考：

* ▶ ボタンで「いいえ」を選択し、SETボタンを押すと、「年」の設定画面に戻ります。
* ステップ❷で M📷 が選ばれていた場合は、液晶モニターが消灯します。▶、SET が選ばれていた場合は、液晶モニターは消灯せず、それぞれの初期画面が表示されます。



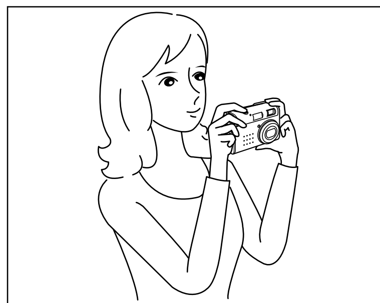
スルー画像（レンズを通した画像）

1
準備

第 2 章　基本撮影

撮影する

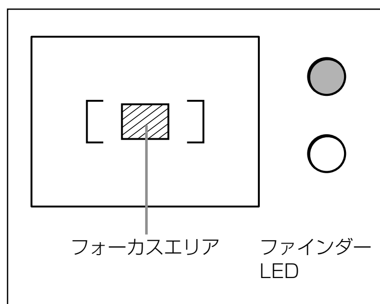
カメラの構え方



- 両手でしっかりと持ち、ひじを軽く締めると構えが安定します。
- カメラを縦にしてフラッシュ撮影する場合は、シャッターボタンが上になるように構えてください。

* フラッシュやレンズに指やストラップがかからないようにご注意ください。

ファインダーとLED



ファインダー撮影では、ファインダー全体で被写体をとらえ、ファイダーのほぼ中央に位置する「[　]」内の斜線中央部分を目安にしてピントを合わせたい被写体をその部分に入れて、ピントを合わせます。
マクロ撮影（0.25 mから0.8 m）時は、ファインダーと撮影範囲がずれますので、必ず液晶モニターをONにして撮影してください。マクロ撮影については、p.32 をご覧ください。
ズーム位置が望遠側で被写体との距離が近い場合も、撮影範囲がずれます。

ファインダーの右側にあるファインダーLEDの表示状態と意味は以下の通りです。
各操作時の参考にしてください。

LED表示	状態	意味	警告音
赤	点滅	システムエラー(コードをステータスLCDに表示)	有
赤	点滅	手ぶれ警告、低輝度警告	無
赤	点灯	フラッシュ充電中	無
緑	点滅	オートフォーカス(AF)不可能（注 1）	無
緑	点灯	撮影準備完了	無
赤と緑	点滅	カード容量不足、未挿入、不良、未フォーマット カードがプロテクトされている	有
赤と緑	点滅	手ぶれ警告・低輝度警告とフォーカス(AF)不可能な時	無
赤と緑	点灯	カードフォーマット中、処理中	無

（注 1）被写体との距離がオートフォーカス測距範囲（通常撮影時 0.8 m～∞、マクロ撮影時 0.25 m～0.8 m）から外れている場合にもおこります。

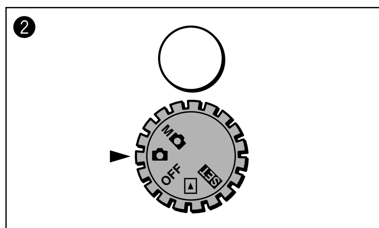
撮影する

通常の撮影は、被写体までの距離が0.8 m以上で行います。被写体までの距離が0.25 mから 0.8 mまでの場合は、後述の「（マクロ撮影）モード」(p.32) をご覧ください。

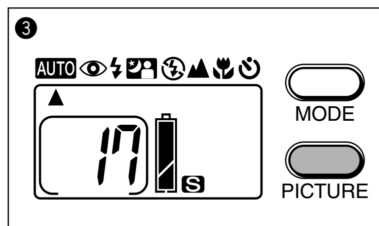
❶ SDメモリーカード／マルチメディアカードが装着されていることを確認します。

❷ カメラ上面のメインスイッチをにセットします。
レンズがせり出してきます。

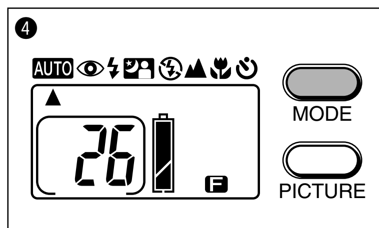
* レンズをおさえてにセットすると、ステータスLCDに「Err」が表示されることがあります。この場合は、いったんOFFにし、再度にセットしてください。



❸ PICTUREボタンを押して、撮影する画像データの画質モードを設定します。
（初期設定は S です。変更する場合は、「画質を設定する」（p.28）をご覧ください。）

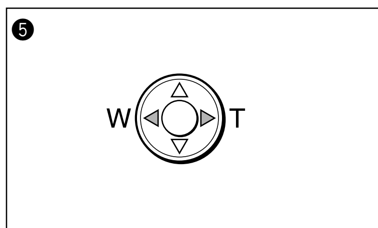


❹ MODEボタンを押して撮影モードを設定します。
（初期設定は AUTO です。被写体に合わせて変更する場合は、「撮影モードボタンを使う」（p.29）から「（セルフタイマー）モード」（p.34）をご覧ください。）



2
基本撮影

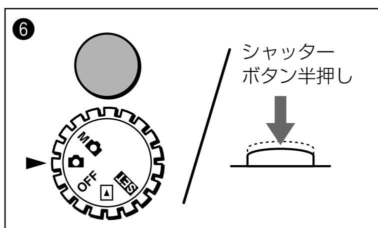
❺ 液晶モニターまたはファインダーで構図を決め、◀ (W)、▶ (T)ボタンを押して、被写体の大きさを決めます。



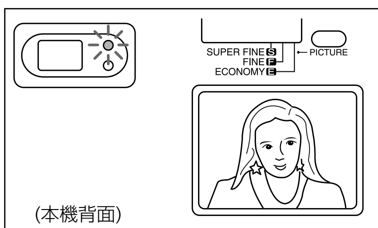
参考：

* ◀ (W)ボタンを押すと被写体は小さくなり(ワイド:広角)、▶ (T)ボタンを押すと被写体は大きくなります(テレ:望遠)。35mmカメラ換算で35～105mmの範囲でズーム機能が働きます。

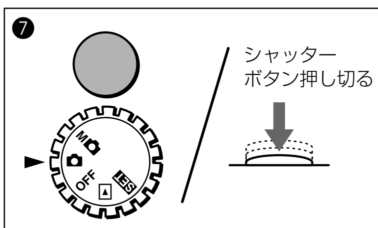
❻ シャッターボタンを軽く押します（半押し)。
ファインダーLEDが緑色に点灯し、露出とピントがロックされます。
ピントを合わせる被写体が中央にない場合は後述の「フォーカスロック撮影」(p.25参照) を行ってください。



参照： p.26「レリーズロック」



❼ シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みます。
ブザー音が鳴ったら撮影の完了です。
続いて、撮影画像をSDメモリーカード／マルチメディアカードに書き込む動作が開始し、同時に側面のカードアクセスLED(オレンジ)が点灯します。カードアクセスLEDが消灯したら記録の完了です。



＊ カードアクセスLEDが点灯中は、カード電池蓋を絶対に開けないでください。

参考：

* ステータスLCDに表示される枠内の数字は、残りの撮影可能枚数を表わします。撮影可能枚数はSDメモリーカード／マルチメディアカードの容量と画質モードにより変動します。

＊ 電池残量マークの表示が半分（ ）になったら、新しい電池と交換してください。

❽ メインスイッチをOFFにします。
レンズが自動的に沈胴します。

ファインダーを使って撮影する

液晶モニターを使わず、ファインダーだけで撮影することもできます。

❶ カメラ上面のメインスイッチを📷にセットし、DISPLAY ボタンを押します。
液晶モニターは消灯します。

❷ ファインダーを使って撮影します。

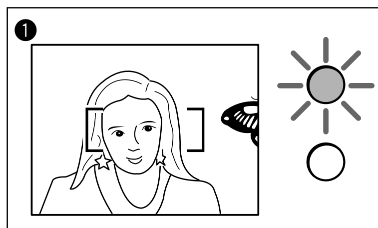
注意： 液晶モニターを消灯した状態でメインスイッチをOFFにすると、次に撮影する場合起動時は、液晶モニターが消灯した状態となります。
液晶モニターを使用して撮影する場合は、DISPLAY ボタンを押してください。



フォーカスロック撮影

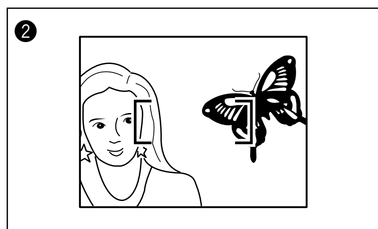
撮影したい被写体がファインダーの中央に位置していない場合、以下の手順に従ってください。

❶ ピントを合わせたい被写体をファインダー内のフォーカスフレームに合わせて、シャッターボタンを軽く押します（半押し）。
ファインダー LED が緑色に点灯してピント位置が固定されます。



参考：
* ファインダーLEDが緑色に点灯している状態で露出も固定されています。
* ピント位置固定後、シャッターボタンから指を離すと、フォーカスロックは解除され設定し直すことができます。

❷ シャッターボタンを軽く押したまま（半押し）撮影したい構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みます。



撮影時の注意とヒント

レリーズロック

p.24 のステップ❻で、構図を決めてシャッターボタンを軽く押すと、露出とピントが固定されますが、以下の条件の場合レリーズロックの（押し切ることができない）状態になり、撮影を完了することができなくなります。警告音が鳴る場合もあります。

* SD メモリーカード／マルチメディアカードがフォーマットされていない（警告音）（注 1）
* SD メモリーカード／マルチメディアカードの空き容量がない（ステータス LCD の残りコマ数表示が「0」の場合）（警告音）
* メモリーカードにプロテクトがかかっている（警告音）
* 連続して撮影を行い、カメラ内部のバッファメモリがいっぱいになった（注 2）
* 露出とピントが決定する前（ファインダー LED の緑色が点灯または点滅する前）
* ステータス LCD にエラーメッセージが表示されている（p.22 参照）

（注 1）：SDメモリーカード／マルチメディアカードのフォーマットは、必ずカメラ本体で行ってください。
操作方法については p.63 をご覧ください。

（注 2）：ご使用のカードおよび画質モードによりレリーズロックされる時間は変動します。

手ぶれ警告

撮影時に手ぶれが発生する可能性がある場合は、ファインダーLEDが赤色に点滅します。

オートシャットオフ機能

電池を装着してカメラを使用していて、一定の時間以上操作をしなかった場合、電池の消耗を防ぐためにカメラの電源は自動的にOFFになります。（電源がOFFになると、モードに応じて液晶モニターが消灯します。）

オートシャットオフから復帰するには、MODE ボタン、PICTURE ボタン、▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン、シャッターボタン、DISPLAY ボタンのいずれかを押します。

電源が自動的にオフになる時間は、初期値で「3 分」に設定されており、設定時間は SET-UP メニューによって変更することができます(p.64 参照)。

残りコマ数表示

撮影した被写体によっては、撮影後も残りコマ数が減少しないことがあります。

注意：

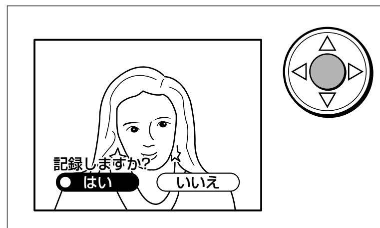
* 液晶モニターを使用した撮影では、メモリーカードが挿入されていない場合（ステータスLCDの残りコマ数表示が「000」で点滅している場合）シャッターを押し切ることはできますが、撮影はされていません。

参考：

* AC アダプターを使用してもオートシャットオフ機能は働きます。

撮影した画像を確認する（クイックレビュー）

SET-UP メニューでクイックレビューを ON に設定しておくと（「クイックレビューを設定する」（p.65）参照）、撮影した画像を撮影直後に約５秒間確認再生することができます。



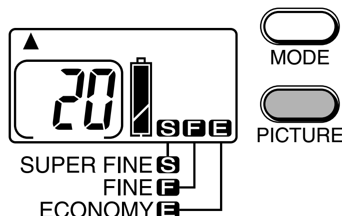
● **液晶モニターを使って撮影した場合：**
撮影が終わると、撮影した画像を約５秒間再生します。
保存する場合は SET ボタンを押します。
保存しない場合は▶ ボタンで「いいえ」を選択してから SET ボタンを押します。
（5 秒間キー操作のない場合は、自動的に画像を保存し、スルー画像に戻ります。）

● **ファインダーを使って撮影し、液晶モニターが消灯している場合：**
撮影が終わると自動的に液晶モニターが点灯し、撮影した画像を約５秒間再生します。
保存する場合は SET ボタンを押します。
保存しない場合は▶ ボタンで「いいえ」を選択してから SET ボタンを押します。
（5 秒間キー操作のない場合は、自動的に画像を保存し、液晶モニターを消灯します。）

画質を設定する

PICTUREボタンを使用すると、撮影する画像データの画質モードを3通りから選択することができます。現在選択されている画質モードは、ステータスLCD上で確認することができます。
PICTURE ボタンを押すごとに、画質モードは以下のように切り替わります。

S SUPER FINE（初期設定）
F FINE
E ECONOMY



撮影可能枚数

下表の数値は、すべて同じ画質モードで撮影した場合の目安値です。画像以外のファイルがある場合や、画質モード・撮影モードを切り替えながら撮影した場合、撮影可能枚数は変動します。また、撮影する被写体によっても撮影可能枚数が増減することがあります。

画質モード	撮影可能枚数（8MB 時）目安*注		ファイルサイズ（目安）	
圧縮率	NORMAL	LOW	NORMAL	LOW
SUPER FINE	約 17 枚	約 9 枚	約 400 KB	約 700 KB
FINE	約 26 枚	約 16 枚	約 250 KB	約 400 KB
ECONOMY	約 60 枚	約 32 枚	約 100 KB	約 200 KB

＊注）SD メモリーカード使用時

参考： 初期設定時には、圧縮率は「NORMAL」になっています。圧縮率の変更については、p.68 をご覧ください。

画質モードと記録画素数

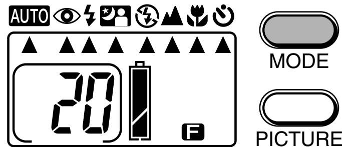
画質モード	記録画素数（横）x（縦）	画質
SUPER FINE	1600 x 1200 pixel	初期設定で選択されています。画質モードの中の最高画質です。保存しておきたい画像や、パソコンに取り込んで編集するモードとして選択してください。約200万画素の画像が撮影できます。
FINE	1280 x 960 pixel	約130万画素の画像が撮影できます。
ECONOMY	640 x 480 pixel	画質モードの中で最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さく、E メール添付などの用途に適しています。

画質モードと表示

上記の画質で撮影された画像を再生表示すると、3種類のモードが液晶モニター下部中央に次のように表示されます。
「SUPER FINE」→S、「FINE」→F、「ECONOMY」→E

撮影モードを選択する

MODE ボタンを押して、各種の撮影モードを選択することによって、被写体に最も適した状態で撮影することができます。8 種のアイコンを使い、14 種のモードを選択することができます。
これらの設定内容は、ステータス LCD のアイコン表示で確認することができます。



MODE ボタンを押すごとに、撮影モードは下記のように順番に切り替わります。

	AUTO	👁	⚡	🌙	🚫⚡	▲	🌷	⏱
自動撮影	▲							
フラッシュ赤目軽減自動発光	▲	▲						
フラッシュ強制発光			▲					
ポートレート夜景				▲				
フラッシュ発光禁止					▲			
遠景撮影						▲		
マクロ撮影							▲	
セルフタイマー／自動撮影	▲							▲
セルフタイマー／赤目軽減自動発光	▲	▲						▲
セルフタイマー／強制発光			▲					▲
セルフタイマー／ポートレート夜景				▲				▲
セルフタイマー／発光禁止					▲			▲
セルフタイマー／遠景撮影						▲		▲
セルフタイマー／近接撮影							▲	▲

参考：

* MODE ボタンを押しながら ◀ ボタンを押すと、逆回りに切り替わります。
* オートシャットオフ時には、各モードの設定は保存されます。（🌙 ポートレート夜景モードと ⏱ セルフタイマーモードは解除されます。）
* **ジャンプ機能：**
  メインスイッチを OFF にすると AUTO（初期設定）に戻りますが、MODE ボタンを一回押すと前回設定したモードが選択さます。（セルフタイマーは「前回設定したモード」の対象にはなりません。）
* **一発 AUTO 機能：**
  MODE ボタンを 2 秒間押し続けると、AUTO に戻ります。

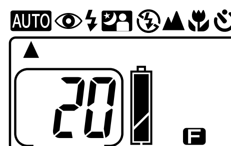
各モードの詳細については該当ページを参照してください。

AUTO (p.30)　AUTO 👁 (p.30)　⚡ (p.30)　🌙 (p.31)　🚫⚡ (p.31)
▲ (p.31)　🌷 (p.32)　⏱ (p.34)

AUTO（自動撮影）モード

すべての設定をカメラが自動的に行うので、撮影に専念できます。暗い場所や逆光時には、カメラがフラッシュが必要か不要かを判断し、必要な場合は自動的に発光します。

● MODE ボタンを押して、AUTO を選択します。



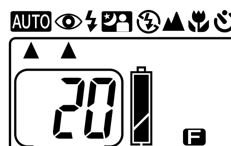
参考：

* フラッシュ撮影の範囲は、ワイド時 0.8m から 3.0 m、テレ時 0.8m から 2.0 m です。（範囲はズーム位置や絞りによって異なります。）この範囲を外れた場合、近すぎると画面が明るくなり、離れると画面は暗く粗れた画像になります。
* フラッシュが充電されている間は、ファインダー LED が赤く点灯します。点灯している間はフラッシュ撮影はできません。続けてフラッシュ撮影をする場合は、ファインダー LED の消灯を確認してから行ってください。

AUTO 👁（フラッシュ赤目軽減自動発光）モード

フラッシュの本発光の前に予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。予備発光をする以外は、AUTO と同じです。

● MODE ボタンを押して、AUTO 👁 を選択します。



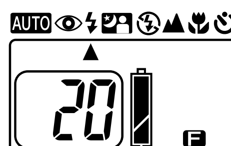
参考：

* 予備発光や本発光を正面から見ていない場合、被写体まで距離がある場合などは、赤目軽減の効果が表われにくくなることがあります。

⚡（フラッシュ強制発光）モード

逆光時や人工照明下などで、人物の顔にかかった強い陰をやわらげる時などに使います。周囲の明るさに関係なく、常にフラッシュ撮影が行われます。

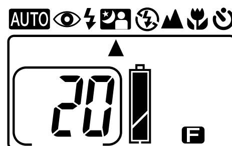
● MODE ボタンを押して、⚡ を選択します。



（ポートレート夜景）モード

夜景をバックに人物を撮影する時などに使います。常にフラッシュ撮影と赤目軽減撮影が実行されます。
低輝度の場合は、シャッタースピードが遅くなり、カメラぶれが発生しやすくなりますので、三脚のご使用をおすすめします。

- MODE ボタンを押して、 を選択します。

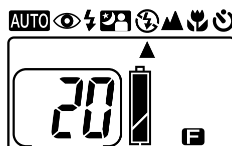


（フラッシュ発光禁止）モード

フラッシュ撮影が禁止されている場所や夜景、室内照明を利用して撮影する時などに使います。常にフラッシュ撮影は行われないようになります。
低輝度の場合はシャッタースピードが遅くなり、カメラぶれが発生しやすくなりますので、三脚のご使用をおすすめします。

- MODEボタンを押して、 を選択します。

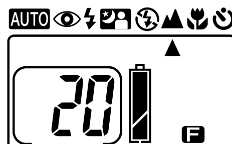
参考：
* 被写体が動いている場合は、ぶれて撮影されます。



（遠景撮影）モード

風景を撮影する時などに使います。常にフラッシュ発光は禁止となります。

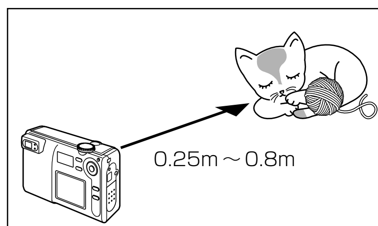
- MODEボタンを押して、 を選択します。



(マクロ撮影)モード

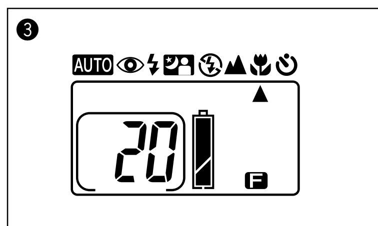
被写体に近づいて撮影する時などに使います。
マクロ撮影は、被写体までの距離がレンズ前面より0.25mから0.8mまでの範囲にある時に行います。
マクロ撮影では、常にフラッシュは発光禁止となりますので、低輝度の場合はシャッタースピードが遅くなり、カメラぶれが発生しやすくなります。
マクロ撮影で近距離の物を撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

注意： マクロ撮影では、ファインダー内の視野と撮影範囲は異なります。液晶モニターを使用して撮影してください。



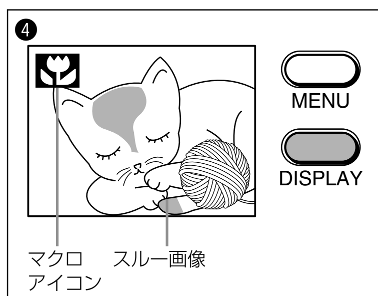
❶ カメラ上面のメインスイッチを にセットします。
レンズがせり出してきます。

❷ PICTUREボタンを押して、撮影する画像データの画質を設定します。



❸ MODEボタンを押して を選択します。

❹ 液晶モニターにマクロアイコンが表示されます。



参考：
* 液晶モニターが消灯している場合はDISPLAYボタンを押してください。

❺ 液晶モニターを見ながら、◀ (W)、▶ (T)ボタンを使い被写体の大きさや構図を決めます。

❻ シャッターボタンを軽く押します（半押し）。
ファインダーLEDが緑色に点灯し、露出とピントがロックされます。

❼ シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みます。
ブザー音が鳴ったら、撮影の完了です。

参考：

* マクロ撮影時のピント合わせは、通常の撮影よりも若干時間がかかります。
* 次のような場合には、ピントが合いにくくなります。
  ・撮影場所や被写体が極端に暗い場所。
  ・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）、横線だけで凹凸のないもの、動きの速いもの、低輝度（暗い場所）のもの、強い逆光や反射光があるもの、蛍光灯などのちらつきのあるもの。

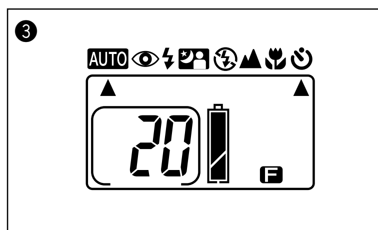
#（セルフタイマー）モード

シャッターをカメラ側で自動で切れるように設定するモードで、シャッターを押す撮影者自身を含めて撮影したい時などに使います。
セルフタイマーを利用した撮影は、カメラを固定して設置しておく必要があるため、三脚のご使用をおすすめします。
シャッターボタンを押してから約 10 秒後（初期設定）にシャッターが切れます。

❶ カメラ上面のメインスイッチをにセットします。
レンズがせり出してきます。

❷ PICTURE ボタンを押して、撮影する画像データの画質を設定します。

❸ MODEボタンを押して、を選択します。



参考：
* セルフタイマーモードは、AUTO、AUTO 、、、、、の全てのモードと併用できます。

❹ 液晶モニターまたはファインダーで構図を決め、◀ (W)、▶ (T)ボタンを押して、被写体の大きさを決めます。

❺ シャッターボタンを軽く押し（半押し）、さらに深く静かに押し込みます。
カメラ正面のセルフタイマー LED が赤く点滅しはじめ、約 10 秒後にシャッターが切れます。

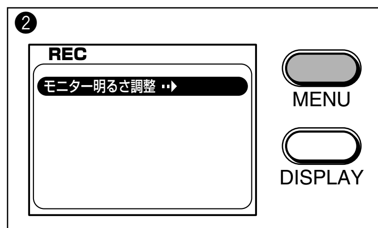
参考：
* セルフタイマーの作動中にキャンセルしたい場合は、メインスイッチを OFF に選択します。
* セルフタイマーは撮影ごとに解除されます。続けてセルフタイマー撮影をする場合は、その都度設定してください。
* セルフタイマー動作時間は、SET-UP メニューで「10 秒」（初期設定）か「3 秒」のいずれかに選択することができます（p.63 参照）。

液晶モニターの明るさを調整する

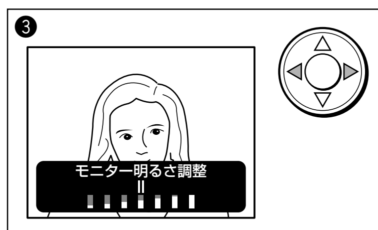
撮影場所の明るさに応じて、液晶モニターの明るさを調整することができます。

❶ カメラ上面のメインスイッチを📷にセットします。
レンズがせり出してきます。

❷ MENU ボタンを押し、REC メニューモードに入ります。
「モニター明るさ調整」が選択されています。

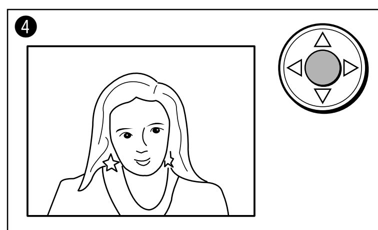


❸ ▶ ボタンを押し「モニター明るさ調整」メニューに入り、◀、▶ ボタンで調整します。



参考：
* ◀ ボタンを押すと暗くなり、▶ ボタンを押すと明るくなります。
* ▼ ボタンを押すと、❷ の画面に戻ります。

❹ SET ボタンを押して、REC メニューモードから出ます。
液晶モニターにスルー画像が表示されます。



参考：
* 液晶モニターの明るさを変えても、記録画像の明るさは変わりません。

2 基本撮影

第 3 章　応用撮影

M-RECメニューを使う

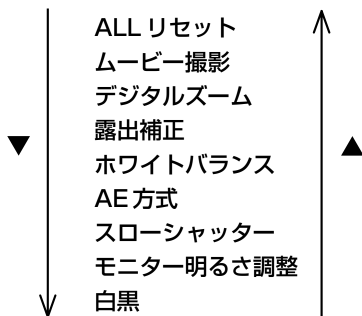
このカメラはメインスイッチをMにセットし、お好みの設定で撮影することができます。

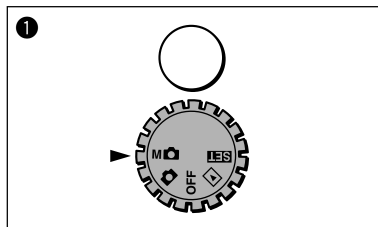
❶ カメラ上面のメインスイッチをMにセットします。
レンズがせり出してきます。

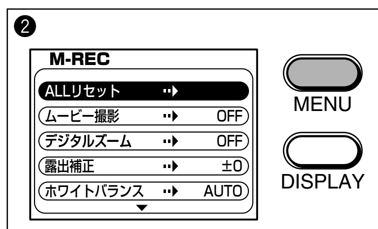
* レンズをおさえてMにすると、ステータスLCDに「Err」が表示されることがあります。この場合は、いったんOFFにし、再度Mにしてください。

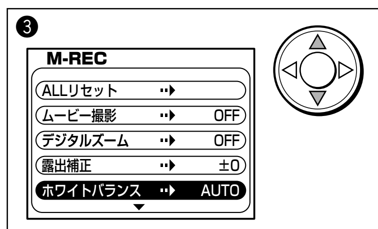
❷ MENUボタンを押してM-RECメニューモードに入ります。
M-RECメニュー画面が表示されます。

❸ ▲、▼ボタンを押してお好みのメニューを選択します。
▲、▼ボタンを押すごとに、メニューは下記のように切り替わります。

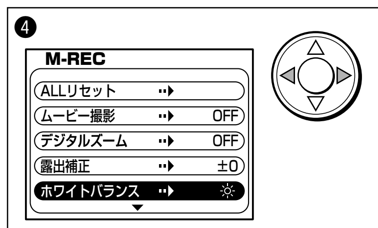








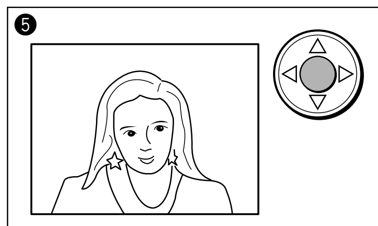
❹ ◀、▶ボタンを押してメニューの内容を選択します。



参考：

* 続けて設定する場合は、ステップ❸、❹を繰り返します。

❺ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了し、液晶モニターにスルー画像が表示されます。



❻ 設定された条件で撮影します。（「撮影する」（p.23）参照）

参考：

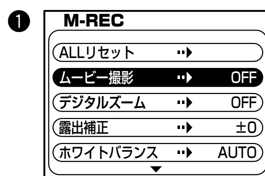
* 設定されたメニューの内容は電源をOFFにしても保存されます。
* M-RECメニューで設定された内容は、メインスイッチを📷（オート撮影モード）にセットした場合には反映されません。

ムービーを撮影する

動画が撮影できます。記録画素数は、320 x 240 pixelsまたは160 x 120 pixelsです。動画撮影時間は最大で、320 x 240 pixels時は30秒、160 x 120 pixels時は60秒です。シャッターボタンを押している間のみ撮影できます。

注意： * ムービー撮影が設定されると、「ALLリセット」と「モニター明るさ調整」以外のメニュー設定は変更できなくなります。（ムービー撮影をOFFにすると、各メニューの設定を行うことができます。）
* ステータスLCDには15秒間の動画撮影可能回数が表示されます。

❶ M-RECメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「ムービー撮影」を選択します。

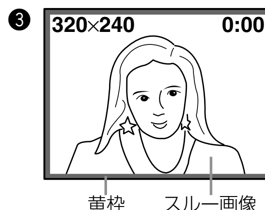


❷ ◀、▶ボタンを押してメニューの内容を選択します。
◀、▶ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

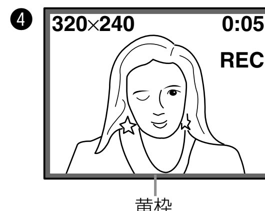




❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了し、液晶モニターにスルー画像が黄枠で表示されます。
また、画面左上に解像度、画面右上に撮影時間（0:00）が表示されます。



❹ 動画を撮影します。
シャッターボタンを押している間のみ、動画が撮影できます。
撮影中は、画面右に「REC」と赤く表示され、撮影時間がカウントされます。

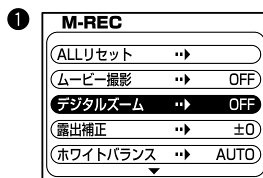


参考：
* ムービー撮影が選択されている場合、ステータスLCDのムービーアイコン MOVIE が点灯します。
* ムービー撮影が選択されている場合、メインスイッチをM📷にセットすると、液晶モニターは自動的に点灯し、スルー画像を表示します。（DISPLAYボタンを押しても、液晶モニターは消灯しません。）
* ムービー撮影中、光学ズームは作動しません。（シャッターボタンを押す前に操作して下さい。）

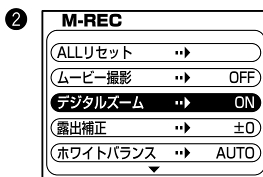
デジタルズームを使う

光学ズーム（3 倍）とデジタルズーム（1.5 倍、2 倍、2.5 倍）を使用することによって、画像を 4.5 倍、6 倍、7.5 倍に拡大して撮影することができます。
デジタルズームは光学ズームが TELE 端（3 倍）の時のみ使用することができます。

❶ M-REC メニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「デジタルズーム」を選択します。

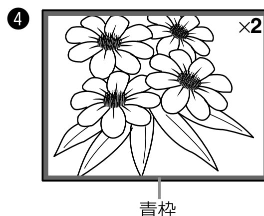


❷ ▶ボタンを押して「ON」を選択します。



❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

❹ ▶ボタンを光学ズームが止まるまで押し、5WAY ボタンをいったん離してから、再度▶ボタンを押します。
液晶モニターに青枠と、画面右上に倍率が表示されます。
液晶モニターをファインダーとして撮影してください。



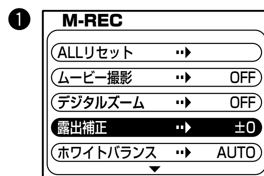
参考：

* ◀、▶ボタンを押すごとに、1.5 倍、2 倍、2.5 倍と切り替わります（押し続けても変化しません）。
* 液晶モニターを消灯している時は、デジタルズームを使用することはできません。
* デジタルズームを使用した場合は、通常撮影された画像と比較して、画質の劣化が生じます。

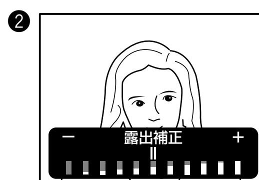
露出を補正する

意識的に撮影画像全体を明るくしたり、暗くしたりする場合、露出の調整を行います。露出調整は、± 1.5 EV の範囲を 0.3 EV 刻みで調整することができます。

❶ M-REC メニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「露出補正」を選択します。



❷ ◀、▶ ボタンを押して調整します。



参考：

* ◀ ボタンを押すと暗くなり、▶ ボタンを押すと明るくなります。

❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

参考：

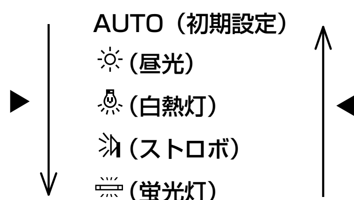
* 薄暗い所の被写体に対して補正を行っても設定後の変化がわかりにくい場合があります。このような場合には、補正を何段階か変えて複数枚撮影しておき、適切な画像を選択することをお薦めします。
* フラッシュを使用した場合には補正効果が不充分になる場合がございます。

ホワイトバランスを変更する

どんな光源の下でも、自然の色合いで撮影できるようホワイトバランスを調整できます。

❶ M-REC メニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択します。

❷ ◀、▶ ボタンを押して設定を変更します。◀、▶ ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

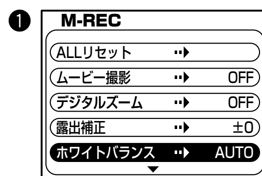


❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

参考：

* 複数の光源がある場合や特殊な光源下では、思い通りに撮影できないことがあります。

❶



❷

M-REC
ALLリセット
ムービー撮影 OFF
デジタルズーム OFF
露出補正 ±0
ホワイトバランス

3

応用撮影

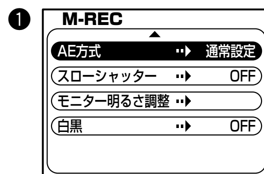
AE方式を変更する

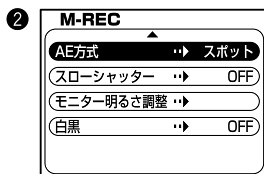
通常設定時では、中央重点測光方式となっていますが、スポット測光に変更することができます。
スポット測光では、被写体の狙いの部分に確実に露出を合わせることができます。

❶ M-RECメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「AE方式」を選択します。

❷ ◀、▶ボタンを押して「通常設定」か「スポット」を選択します。

❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

❶


❷


スローシャッタースピードに変更する

通常のシャッタースピード（スローシャッターOFF時）は1/2000から1/8秒ですが、スローシャッターをONにすることにより、1/2000から2秒にすることができます。

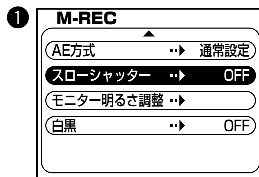
❶ M-RECメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「スローシャッター」を選択します。

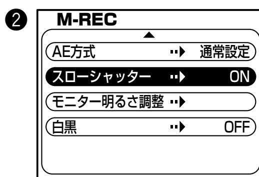
❷ ◀、▶ボタンを押して「ON」選択します。

❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

参考：

* スローシャッタースピードはポートレート夜景／フラッシュ発光禁止／遠景撮影／マクロ撮影の時のみ有効となります。
* 手ブレ防止のため三脚をご使用ください。

❶


❷


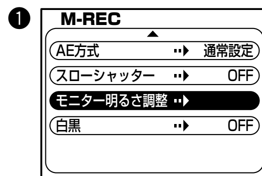
液晶モニターの明るさを調整する

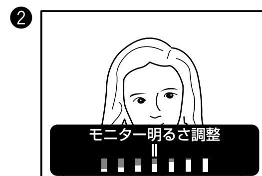
撮影場所の明るさに応じて、液晶モニターの明るさを調整することができます。

❶ M-REC メニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「モニター明るさ調整」を選択します。

❷ ▶ボタンを押して「モニター明るさ調整」メニューに入り、◀、▶ボタンを押して調整します。

❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了します。

❶


❷


3
応用撮影

白黒で撮影する

モノクロフィルムで撮影したようなノスタルジックな雰囲気を表現したい時や、雑誌や白板などの文字をメモ代わりに撮影する時などに使用します。

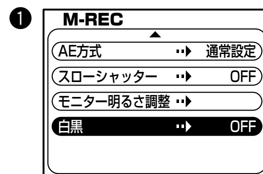
❶ M-REC メニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「白黒」を選択します。

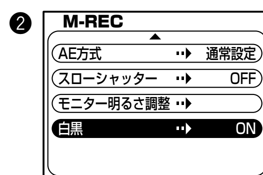
❷ ▶ボタンを押して「ON」を選択します。

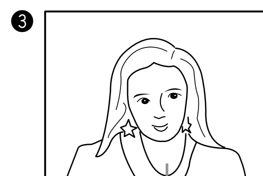
❸ SETボタンを押すとM-RECメニューモードは終了し、液晶モニターにスルー画像が白黒で表示されます。

参考：

* 白黒撮影が選択されている場合、ステータスLCDの白黒アイコン B/W が点灯します。

❶


❷


❸


白黒のスルー画像

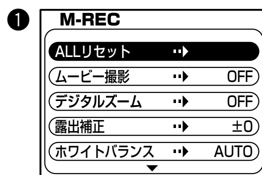
初期設定に戻す

M-RECメニューで行ったさまざまな設定を、一度に初期設定に戻すことができます（下記参照）。

❶ M-RECメニューモードに入ります。
「ALLリセット」メニューが選択されています。

❷ ▶ ボタンを押して「ALLリセット」メニューに入り、◀ ボタンを押して「はい」を選択します。

❸ SETボタンを押すとすべて初期設定に戻り、M-RECメニューモードは終了します。

❶


❷


初期設定とは

ムービー撮影：	OFF
デジタルズーム：	OFF
露出補正：	±0
ホワイトバランス:	AUTO
AE方式：	通常設定
スローシャッター：	OFF
白黒：	OFF

注意：

* 撮影モード（p.15 ❶）や画質モード（p.15 ❸）はリセットされません。

第 4 章　基本再生

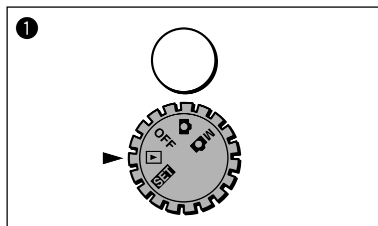
再生する

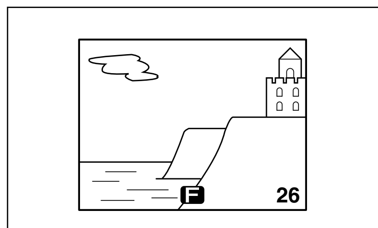
撮影した画像を液晶モニターに表示することができます。

注意： 撮影後にメインスイッチを ▶ にセットし画像を再生する場合、カードアクセスLEDが消灯するまで再生モードにはなりません。（カードへの書き込みが終了すると自動的に再生モードに入ります。）

❶ カメラ上面のメインスイッチを ▶ にセットします。
撮影された最新の画像が表示されます。

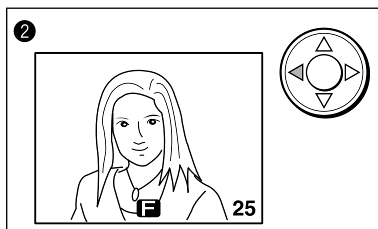
参考：
* ムービー画像は、黄枠表示されます。
* 画像データがない場合は、「画像が記録されていません」と表示されます。（注 1）

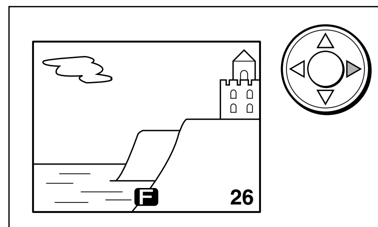




❷ ◀ ボタンを押すごとに、一つ前の画像が表示されます。
▶ ボタンを押すごとに、次の画像が表示されます。

参考：
* 最初粗い画像が表示され、少しすると、きれいな画像が表示されます。画像のコマ送りをする場合には、粗い画像のときでも可能です。



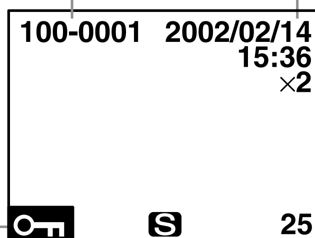


再生画面について

液晶モニターには画像の他に、下記のような情報が表示されます。

ファイル No.（ファイル No.　ON 時のみ表示）
カード内に記録されている「ディレクトリ番号」と「ファイル番号」を表示します。この番号は、各画像に割り当てられる固有の登録番号で、DPOF ファイル（p.57）を作成する際に使用します。（注 2）（注 3）

日付・時刻表示（再生時３秒間のみ表示）



ズーム再生倍率（ズーム再生時のみ表示）

プロテクトマーク（プロテクト画像のみ表示）

通しコマ NO（常時表示）
コマNOは、カメラで再生できる画像につけられる通し番号です。画像を消去した場合には、通し番号はふり直されます。

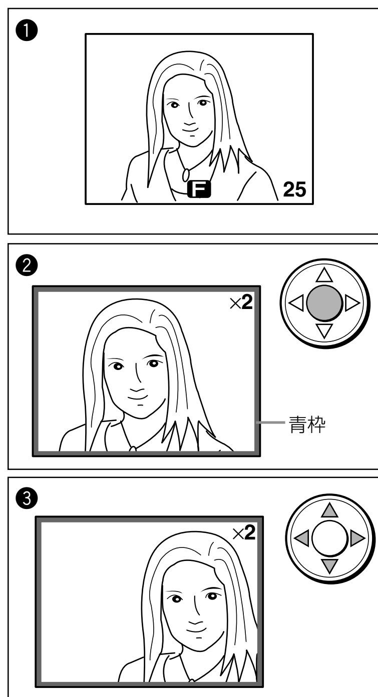
画質モード（常時表示）
この画像が撮影されたときの画質の種類を表示します。
- S　Superfine
- F　Fine
- E　Economy
- ムービー

（注 1）
本カメラで再生できる最大コマ数は、999枚です。SDメモリーカード／マルチメディアカード内に999 枚を超える画像ファイルがある場合は、再生が実行されないことがあります。

（注 2）
本カメラはDCF（Design rule for Camera File system）仕様に準拠した画像ファイルの再生が可能です。（他社製品で撮影された画像ファイル（DCF仕様に準拠した他社製品のみ）も再生可能です。ただし、メモリーカードはSDメモリーカード／マルチメディアカードである必要があります。）

（注 3）
他社製品で撮影された画像ファイルの場合は、一部の機能（消去など）を使用することができません。

拡大して表示する



❶ 見たい画像を選択します。

❷ SET ボタンを押します。
画像の中心部が2倍に拡大されて表示されます。
もう一度押すと４倍になります。

参考：
* 拡大された画像は、青枠表示されます。
* 画質モードとコマ NO 表示は消えます。

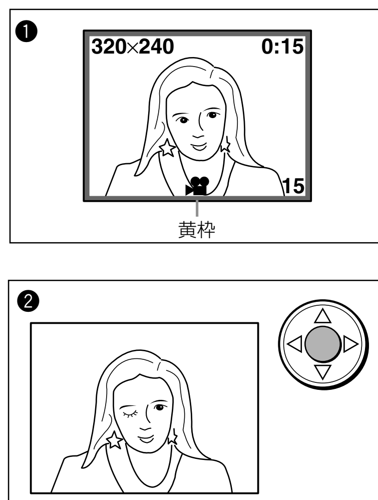
❸ ▲、▼、◀、▶ ボタンを押して画像をスクロールし、見たい部分を表示させます。

参考：
* SET ボタンを押すと、❶ の画面に戻ります。

ムービー画像を再生する

❶ 見たいムービー画像を選択します。

参考：
* ムービー画像は、黄枠表示されています。
* ムービー画像は、読み出しに多少時間がかかります。



❷ SET ボタンを押します。
ムービーの再生がスタートします。

参考：
* 再生スタートと同時に、画面内の情報表示はすべて消えます。
* 再生中は、黄枠表示されません。
* ファインダーLED（赤・緑）およびカードアクセスLED点灯中は、再生スタートできません。

❸ 再生中に：
SETボタンを押すと再生が終了し、初期画面に戻ります。
▼ボタンを押すと一時停止となり、再度▼ボタンを押すと再スタートします。
再生が終了すると、❶ の画面に戻ります。

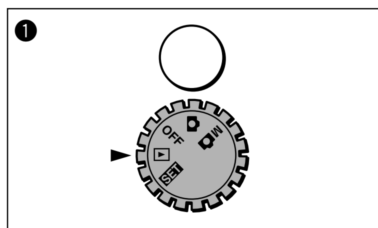
注意： 本機で撮影されたムービー画像は、他のカメラで再生できない場合があります。

第 5 章　応用再生／消去

PLAY メニューを使う

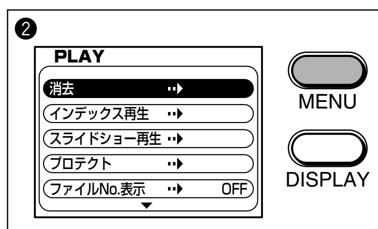
PLAYメニューを使うことによって、さまざまな再生や不要な画像の消去などの画像の編集をすることができます。

❶ カメラ上面のメインスイッチを ▶ にセットします。
撮影された最終コマが表示されます。

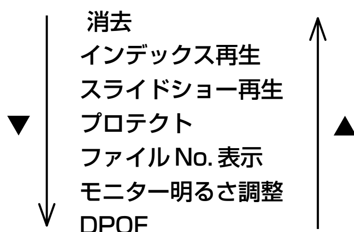


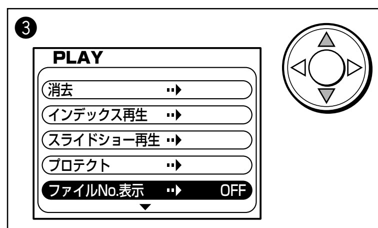
参考：
* ムービー画像は、黄枠表示されます。

❷ MENU ボタンを押して PLAY メニューモードに入ります。
メニュー画面が表示されます。

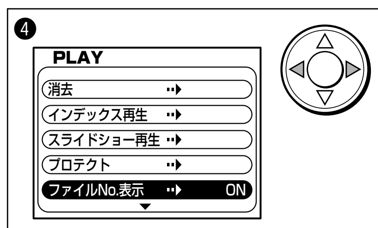


❸ ▲、▼ボタンを押してお好みのメニューを選択します。
▲、▼ボタンを押すごとに、メニューは下記のように切り替わります。

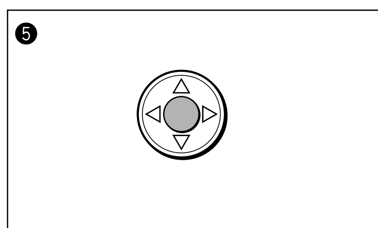




❹ ◀、▶ボタンを押してメニューの内容を選択します。



❺ SET ボタンを押すと PLAY メニューモードは終了します。



参考：
* 設定されたメニューの内容はメインスイッチをOFFにしても保存されます。

画像を消去する

表示している画像1コマだけを消去したり、撮影画像全コマを一度に消去することができます。

1 コマを消去する

❶ 消去したい画像を液晶モニターに表示します。

❷ MENUボタンを押し、PLAYメニューモードに入ります。
「消去」が選択されています。

❸ ▶ ボタンを押して「消去」メニューに入り、▲ ボタンを押して「1 コマ」を選択します。

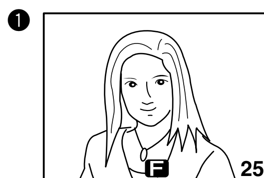
参考：

*「いいえ」を選択し、SET ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。

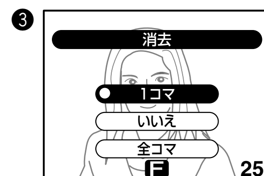
❹ SET ボタンを押します。
表示されていた画像が消去され、消去された画像の次の画像が表示されます。

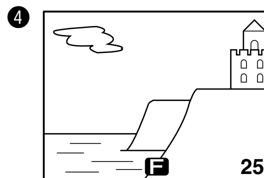
参考：

* 最終コマを消去した場合は、消去したコマの前の画像が液晶モニターに表示されます。
* 消去したコマ以降の画像のコマ番号は順次ふりなおされます。

❶


❷


❸


❹


全コマを消去する

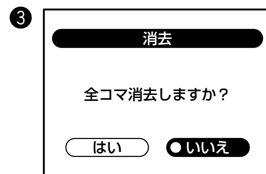
❶ MENUボタンを押し、PLAYメニューモードに入ります。
「消去」が選択されています。



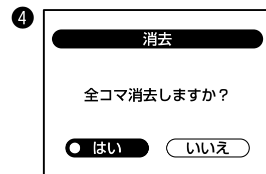
❷ ▶ボタンを押して「消去」メニューに入り、▼ボタンを押して「全コマ」を選択します。



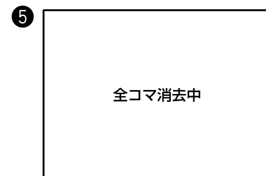
❸ SETボタンを押します。

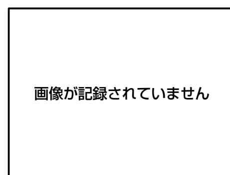


❹ ◀ボタンを押して「はい」を選択します。



❺ SETボタンを押します。
「全コマ消去中」と表示された後、全ての画像が消去され、「画像が記録されていません」と表示されます。





参考：
* プロテクトされた画像がある場合は、最終コマが表示されます。
* 多くのコマを消去する場合、もしくはマルチメディアカードをご使用の場合には、消去に時間がかかります。

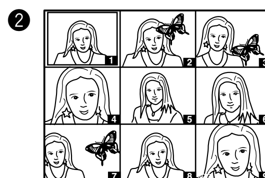
複数の画像を一度に見る（インデックス再生）

液晶モニターに一度に9コマの画像を表示します。表示したい画像に素早くアクセスすることができます。

❶ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「インデックス再生」を選択します。



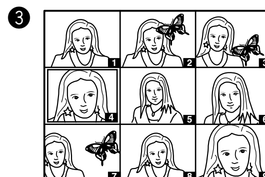
❷ ▶ボタンを押します。
9コマの画像が一度に表示されます。



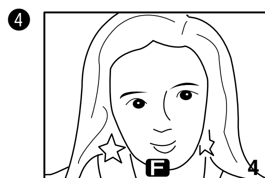
参考：

* メニューに入った時に表示されていた画面は、インデックス画面の中で赤枠表示されます。
* 選択中のコマは赤枠表示されます。
* ムービー画像には🎥、プロテクトされている画像には🔑が表示されます。

❸ ◀、▶、▲、▼ボタンで表示したい画像を選択します。



❹ SETボタンを押します。
選択された画像が通常表示されます。



スライドショーで再生する

撮影した画像を一定間隔で順次再生して確認することができます。

❶ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「スライドショー再生」を選択します。

❷ ▶ボタンを押します。
スライドショー再生確認画面が表示されます。
「はい」が選択されています。

参考：
* ▶ボタンで「いいえ」を選びSETボタンを押すと、通常再生に戻ります。

❸ SETボタンを押します。
1コマ目から3秒間隔で順次再生表示されます。

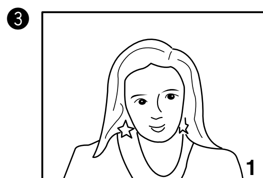
❹ 再生中に：
SETボタンを押すと再生が終了し、終了した時点の画像が通常表示されます。
▶ボタンを押すと次の画像に移ります。
▼ボタンを押すと一時停止となり、再度▼ボタンを押すと再スタートします。

❺ 再生が終了すると、最終コマで表示は終了します。

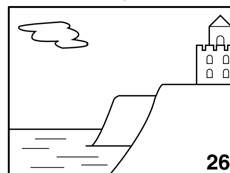
参考：
* コマ送り再生間隔（3秒）を変更することはできません。

❶


❷


❸




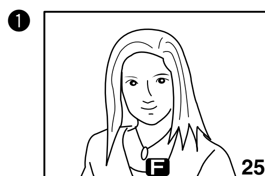


大事な画像を残す（プロテクト）

撮影した画像をうっかり消去してしまわないようにプロテクトをかけることができます。

プロテクトをかける

❶ 液晶モニターにプロテクトしたい画像を表示します。



❷ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「プロテクト」を選択します。



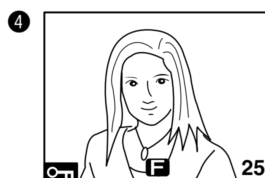
❸ ▶ボタンを押します。
プロテクト確認画面が表示されます。
「はい」が選択されています。

参考：
* プロテクト確認画面には、画面のコマ番号が右下に表示されます。
* ▶ボタンで「いいえ」を選びSETボタンを押すと、通常再生に戻ります。



❹ SETボタンを押します。
画像がプロテクトされ、プロテクトマーク（🔑）が表示されます。

参考：
* プロテクトされた画像は、全コマ消去を行っても消去されません。



プロテクトをはずす

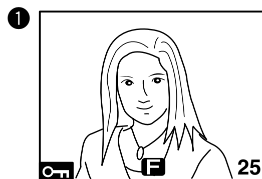
❶ 液晶モニターにプロテクトされている画像を表示します。

❷ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「プロテクト」を選択します。

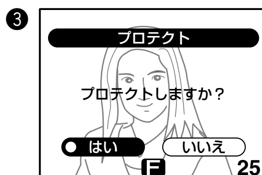
❸ ▶ボタンを押します。
プロテクト確認画面が表示されます。
「はい」が選択されています。

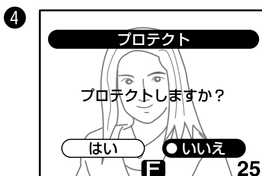
❹ ▶ボタンで「いいえ」を選択します。

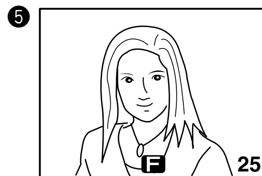
❺ SETボタンを押します。
画像のプロテクトがはずされ、プロテクトマーク（O┳┳）が消えます。

❶


❷


❸


❹


❺


ファイル No. を表示する

再生画像にファイル No. を表示することができます。（p.47 参照）

❶ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「ファイルNo.表示」を選択します。

❷ ▶ボタンを押して「ON」を選択します。

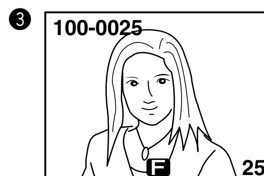
❸ SETボタンを押します。
通常再生表示に戻り、画像にファイルNo.が表示されます。

参考：

*「OFF」を選びSETボタンまたはMENUボタンを押すと、画像からファイルNo.は消えます。

❶


❷


❸


液晶モニターの明るさを調整する

再生場所の明るさに応じて、液晶モニターの明るさを調整することができます。

❶ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「モニター明るさ調整」を選択します。

❷ ▶ボタンを押して「モニター明るさ調整」メニューに入り、◀、▶ボタンを押して調整します。

❸ SETボタンを押すとPLAYメニューモードは終了します。

❶


❷


プリントする画像を選ぶ（DPOF）

本カメラ自身でプリント（印刷）することはできません。

このメニューは、カメラ店や写真店のデジカメプリントサービスでプリント注文する時（注 1）や、DPOF（注 2）対応のデジタルプリンターでカード内の画像を自動的に出力する時に、出力したい画像・枚数を指示するものです。指定には全コマ指定と 1 コマづつ指定する 2 つのパターンがあります。
指定した内容（注文する内容）は、カード内に DPOF ファイルとして自動的に作成され、このファイル内に注文データが記録されます。

(注 1)：コニカデジカメプリントサービスをご指定のうえ、プリント注文してください。
(注 2)：DPOF：デジタルプリントオーダーフォーマット（Digital Print Order Format）の略。

> **DPOF機能を利用してお手持ちのプリンターでプリントする場合には、お持ちのプリンターが DPOF 対応かどうかプリンターメーカーにご確認ください。**
>
> **注）お手持ちのプリンターがDPOF対応でない場合、作成されたDPOFファイルからプリントすることはできません。**

画像を選ぶ（1 コマ／全コマ）

❶ PLAYメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「DPOF」を選択します。



❷ ▶ボタンを押して「DPOF」メニューに入ります。
「設定」が選択されています。



❸ SET ボタンを押します。

❹ ▲、▼ボタンを押して「1 コマ」または「全コマ」を選択します。
「1 コマ」....... カード内の画像を 1 コマずつ選んで、その画像をプリントする枚数を指定します。
「全コマ」....... カード内のすべての画像とそのプリントする枚数を指定します。枚数を各画像ごとに指定することはできません。



参考：
* 「いいえ」を選びSETボタンを押すと、通常再生に戻ります。

5 応用再生／消去

「1 コマ」の場合

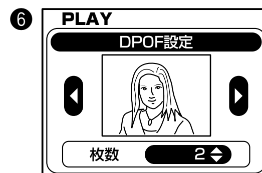
❺ 「1 コマ」を選び、SET ボタンを押します。



❻ ◀、▶ ボタンで画像を選び、▲、▼ ボタンでプリントする枚数を指定します。

参考：

* 「枚数」として指定できる範囲は、画像 1 ファイルにつき 1 〜 99 枚です。



❼ SET ボタンを押します。
❷ の画面に戻ります。



❽ ▼ ボタンで「終了」を選び SET ボタンを押します。

「全コマ」の場合

❺ 「全コマ」を選び、SET ボタンを押します。



❻ ▲、▼ ボタンでプリントする枚数を指定します。(「全コマ指定」が選択されています。)

参考：

* 「枚数」として指定できる範囲は、画像 1 ファイルにつき 1 〜 99 枚です。
* 100枚以上の画像がカード内にある場合は「101コマ以上は選択できません。」の表示に続いて「コマ選択」の画面になります。
* ▶ ボタンで「キャンセル」を選びSETボタンを押すと、❷ の画面に戻ります。



❼ SET ボタンを押します。
❷ の画面に戻ります。



❽ ▼ ボタンで「終了」を選び SET ボタンを押します。

画像を確認する

「ファイル No.」と「枚数」をリスト表示し、指定内容を確認します。

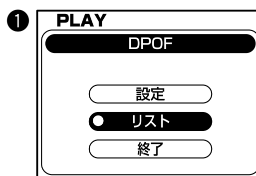
❶ ▼ボタンを押して「リスト」を選択します。

❷ SET ボタンを押します。
指定した画像のファイルNo.と枚数がリスト表示されます。

❸ ▲、▼ボタンで内容を確認した後、▶ボタンを押して「決定」を選択します。

❹ SET ボタンを押します。
「DPOF」メニューに戻ります。

❺ SET ボタンを押すと PLAY メニューモードは終了します。

❶


❷


❸


❹


リストから削除する（１コマ／全コマ）

プリントが不要な画像に対しては、リストからの取り消し（1 コマ、全コマ）を行うことができます。

❶ リスト画面を表示させます。

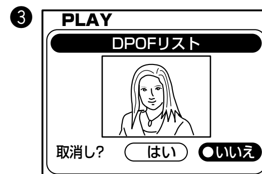


１コマ削除の場合

❷ ▲、▼ ボタンで削除する画像を選択します。



❸ SET ボタンを押します。
削除したい画像と取り消し確認画面が表示されます。



❹ ◀ ボタンを押して「はい」を選び、SETボタンを押します。
削除した画像を除いたリスト画面が表示されます。



参考：
* 「いいえ」を選びSETボタンを押すと削除はキャンセルされ、リスト表示に戻ります。

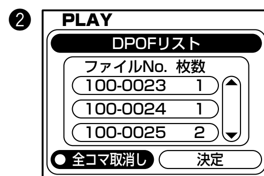
❺ ▶ ボタンを押して「決定」を選び、SETボタンを押します。
「DPOF」メニューに戻ります。



❻ SET ボタンを押すと PLAY メニューモードは終了します。

全コマ削除の場合

❷ ◀ボタンを押して「全コマ取り消し」を選択し、SET ボタンを押します。
「DPOF」メニューに戻ります。



❸ SET ボタンを押すと PLAY メニューモードは終了します。



5

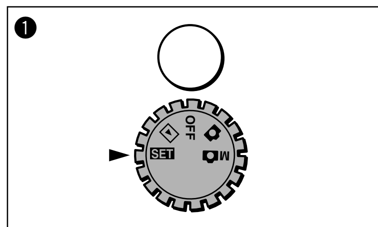
応用再生／消去

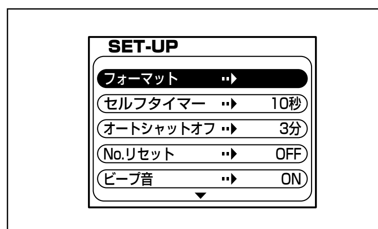
第6章　応用操作

SET-UP メニューを使う

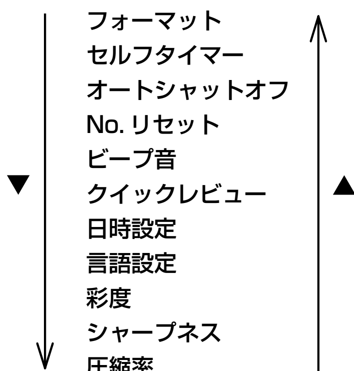
SET-UPメニューの各項目を変更することにより、自分に合った使いやすい設定でカメラを使用することができます。

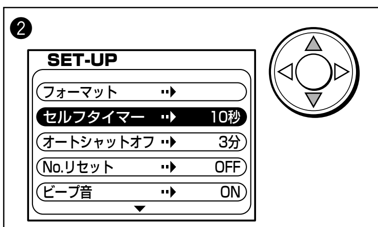
❶ カメラ上面のメインスイッチを SET にセットします。
液晶モニターが点灯し、SET-UPメニュー画面が表示されます。



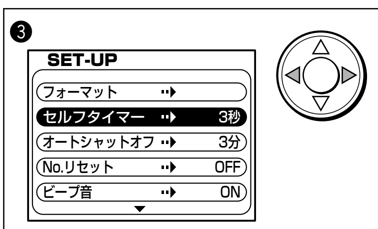


❷ ▲、▼ボタンを押してお好みのメニューを選択します。
▲、▼ボタンを押すごとに、メニューは下記のように切り替わります。





❸ ◀、▶ボタンを押してメニューの内容を選択します。



参考：

* 続けて設定する場合は、ステップ❷、❸を繰り返します。

❹ メインスイッチを SET 以外に合わせるとSET-UP メニューモードは終了します。

参考：

* 設定されたメニューの内容はメインスイッチをOFFにしても保存されます。

カメラをカスタマイズする

SDメモリーカード/マルチメディアカードをフォーマットする

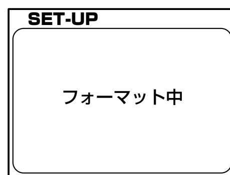
❶ SET-UPメニューモードに入ります。
「フォーマット」が選択されています。



❷ ▶ボタンを押して「フォーマット」メニューに入ります。
「いいえ」が選択されています。

❸ ◀ボタンを押して「はい」を選びSETボタンを押します。
「フォーマット中」と表示されます。
フォーマットが終わると❶の画面が表示されます。





セルフタイマーの時間を設定する

セルフタイマーの時間を10秒（初期設定）から3秒に変更することができます。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「セルフタイマー」を選択します。
「10秒」が選択されています。



❷ ◀、▶ボタンを押して「3秒」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。



❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを**SET**以外に合わせ、SET-UPメニューモードを終了します。

オートシャットオフの時間を設定する

オートシャットオフの時間を３分（初期設定）から１０分、或いはOFFに変更することができます。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「オートシャットオフ」を選択します。
「３分」が選択されています。



❷ ◀、▶ボタンを押して「10分」か「OFF」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。



❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを SET 以外に合わせ、SET-UP メニューモードを終了します。

参考：

* 「OFF」に設定しても、実際には数時間経過後にオートシャットオフとなります。

ファイルNo.をリセットする

ファイルNo.をリセットすることができます。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「No.リセット」を選択します。
「OFF」が選択されています。



❷ ▶ボタンを押して「ON」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。



❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを SET 以外に合わせ、SET-UP メニューモードを終了します。

参考：

* 初期出荷状態ではNo.リセットはOFFになっており、下記のように連続したファイル番号を付番します。

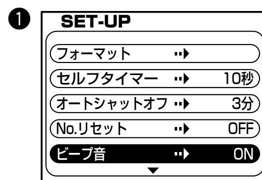
xxxxxx1.jpg、xxxxxx2.jpg、xxxxxx3.jpg ・・・・

* No.リセットをONにすると、カード内に本機で撮影した画像がない場合は、xxxxxx1.jpgから付番します。本機で撮影した画像がある場合は、既に存在するファイル番号の次のNo.を付番します。

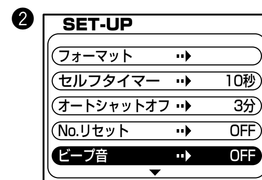
ビープ音を鳴らさないようにする

警告時などに鳴るビープ音をOFFに変更することができます。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「ビープ音」を選択します。
「ON」が選択されています。



❷ ◀、▶ボタンを押して「OFF」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。

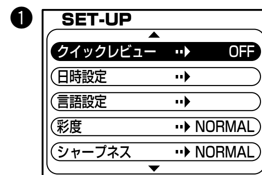


❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UPメニューモードを終了します。

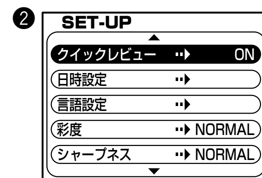
クイックレビューを設定する

クイックレビューをONにすると、📷、M📷時の撮影直後に、撮影画像が約5秒間液晶モニターに再生表示されます。(p.27参照)

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「クイックレビュー」を選択します。
「OFF」が選択されています。



❷ ▶ボタンを押して「ON」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。



❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UPメニューモードを終了します。

日時を設定する

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「日時設定」を選択します。



❷ ▶ボタンを押して「日時設定」メニューに入ります。



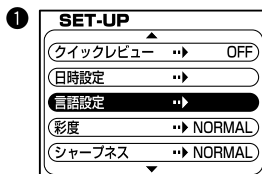
❸ 設定の仕方は、「メニューの表示言語と日付・時刻を合わせる」(p.20)を参照してください。

❹ SETボタンを押します。
❶の画面に戻ります。

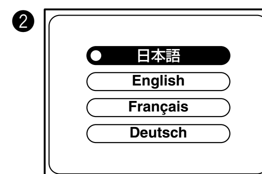
❺ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UPメニューモードを終了します。

言語を設定する

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「言語設定」を選択します。



❷ ▶ボタンを押して「言語設定」メニューに入ります。



❸ ▲、▼ボタンを押してお好きな言語を選択し、SETボタンを押します。
言語選択の確認画面が表示されます。



❹ ◀ボタンを押して「はい」を選び、SETボタンを押します。
選んだ言語が決定され、❶の画面に戻ります。

❺ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UPメニューモードを終了します。

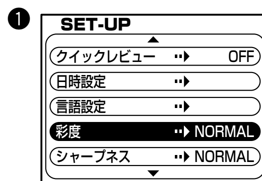
参考：

*「いいえ」を選びSETボタンを押すと、❷の画面に戻ります。

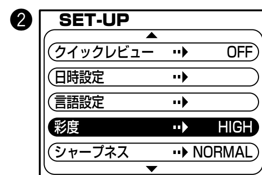
彩度を設定する

色の鮮やかさを調整することができます。「HIGH」にすると鮮やかさが増し、「LOW」にすると落ち着いた色合いになります。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「彩度」を選択します。
「NORMAL」が選択されています。



❷ ◀、▶ボタンを押して「HIGH」か「LOW」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。

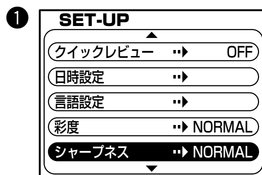


❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UP メニューモードを終了します。

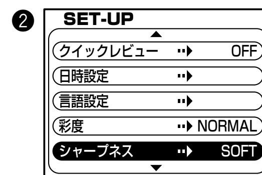
シャープネスを設定する

画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。「HARD」にするとシャープになり「SOFT」にするとソフトになります。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選択します。
「NORMAL」が選択されています。



❷ ◀、▶ ボタンを押して「HARD」か「SOFT」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。

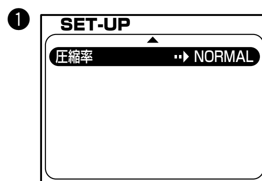


❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UP メニューモードを終了します。

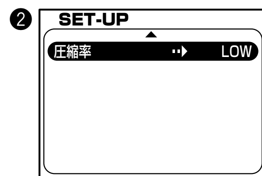
画像の圧縮率を設定する

画像の圧縮率を低くすることができます。圧縮率を低くすると画像はきれいになりますが、ファイルサイズは大きくなり、撮影可能枚数は少なくなります。

❶ SET-UPメニューモードに入り、▲、▼ボタンを押して「圧縮率」を選択します。
「NORMAL」が選択されています。



❷ ◀、▶ボタンを押して「LOW」を選択します。
選択した時点で設定が決定されます。



❸ 次のメニューに移るか、メインスイッチを **SET** 以外に合わせ、SET-UP メニューモードを終了します。

参考：

* 圧縮率とファイルサイズ、撮影可能枚数の関係については、p.28「撮影可能枚数」をご覧ください。

第 7 章　ソフトのインストールとパソコンへの画像転送

動作環境

カメラで撮影した画像は付属のUSBケーブルを利用して、パソコンに転送することができます。

1. Windows
   - OS：　Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows XP がプリインストール済み
   - メモリ：　16MB 以上の使用可能な RAM（32MB 以上を推奨）
   - ディスプレイ：　32000 色以上、解像度 640 × 480 pixel 以上の表示
   - その他：　CD-ROM ドライブ装備、USB ポート標準装備

2. Macintosh
   - OS：　Mac OS 9.0/9.1/9.2 （バージョン 10.0.4 ～ 10.1）
   - CPU：　PowerPC 搭載
   - メモリ：　16MB 以上の使用可能な RAM（32MB 以上を推奨）
   - ディスプレイ：　32000 色以上、解像度 640 × 480 pixel 以上の表示
   - その他：　CD-ROM ドライブ装備、USB ポート標準装備

Windows を使用する

CD-ROM 付属ソフトウェア、KD-210Z ユーザーズガイドをインストールする

※必ずインストールしてください。

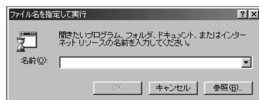
❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

❷ 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブにセットします。

❸「スタート」ボタンをクリックしてから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。



❹「D:¥install.exe」を入力し「OK」をクリックします。



※ CD-ROMドライブをDドライブとして説明していますので、お客様のパソコンの「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブに表示されているアルファベットをご確認ください。

❺「KONICA KD-210Zセットアップメニュー」の中の「QuickTime」「Adobe Acrobat Reader」「KD-210Zユーザーズガイド」の3つすべてがチェックされていることを確認し「OK」をクリックします。

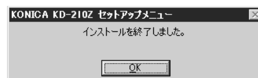


※「QuickTime」「Adobe Acrobat Reader」「KD-210Zユーザーズガイド」は必ずインストールしてください。

❻ ❺でチェックしたソフトウェアを順番にインストールしますので、画面の指示にしたがって操作してください。

注）インストールの途中で「キャンセル」をクリックした場合にはインストールは完了しませんので、再度インストール作業が必要となります。ただし、再起動は全てのインストールの終了後におこなってください。

❼ ❺でチェックしたすべてのインストールが終了すると「KD-210Zセットアップメニュー」画面が表示されます。「OK」をクリックすると作業は完了します。



KD-210Zユーザーズガイドを見る

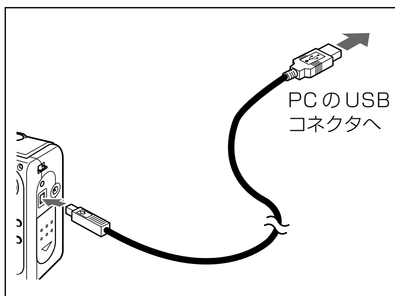
❶ デスクトップ上の「KD-210Zユーザーズガイド」アイコンをダブルクリックします。
❷ KD-210Zユーザーズガイドが表示されます。

USB デバイスドライバーをインストールする

* Windows 2000、Windows Me、Windows XPをお使いの場合、USBデバイスドライバーをインストールする必要はありません。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

❷ 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



❸ カメラ上面のメインスイッチを📷または ▶ にセットします。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。



❹ 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

❺「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をクリックし、「次へ」をクリックします。



❻「検索場所の指定」をクリックし、「D:¥」を入力します。



参考：
* ここでは、CD-ROM ドライブをD ドライブとして説明します。
* インストールに必要なINF ファイルは、「D:¥」にあります。
* 別の検索場所を指定する場合は、「参照」をクリックしてください。

❼「次へ」をクリックします。



❽「次へ」をクリックします。



❾「完了」をクリックします。
USB デバイスドライバーのインストールは終了しました。



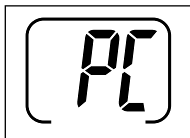
参考：
* Macintosh をご使用になる場合は、USB デバイスドライバーのインストールは必要ありません。

画像を転送する

❶ パソコンの電源を入れます。

❷ 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

❸ カメラ上面のメインスイッチを📷、M📷、▶、SETのいずれかにセットします。
ステータスLCDに「PC」と表示されます。



❹「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

❺ 新しく作られた「リムーバブルディスク（G)」をダブルクリックします。

参考：
* ここではGドライブとして説明しています。お客様のパソコンによって異なりますのでご確認ください。

❻「DCIM」フォルダをダブルクリックします。

❼「100konic」をダブルクリックすると、画像ファイルのアイコンが表示されます。

参考：
*「100konic」の最初の3ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

❽ ファイルをダブルクリックすると、画像が表示されます。
保存する場合は、ドラッグアンドドロップで任意の場所にコピーしてください。

参考：
* カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されている時は、カメラでの撮影や再生はできません。
* カメラにカードが入っていないときは、パソコンと接続はできません。
また、パソコン接続中にカードを抜くと、カメラはパワーオフとなります。

Macintoshを使用する

＊USBデバイスドライバーおよびQuickTimeのインストールの必要はありません。

Adobe Acrobat Readerのインストール

※ すでにインストールされているお客様以外は、必ずインストールしてください。
また、MacOSXをご使用の場合にはインストールの必要はありません。

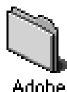
❶ パソコンの電源を入れる。

❷ 付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

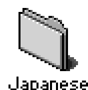
❸「Konica」アイコンをダブルクリックします。



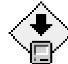
❹「Adobe」アイコンをダブルクリックします。



❺「Japanese」アイコンをダブルクリックします。



❻「Acrobat Reader Installer」をダブルクリックします。



❼ 画面の指示に従って操作してください。

KD-210Zユーザーズガイドのインストール

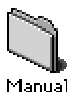
※ 必ずインストールしてください。

❶ 付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

❷「Konica」アイコンをダブルクリックします。



❸「Manual」アイコンをダブルクリックします。



❹「GUIDE_JPN」を任意の場所にコピーします。



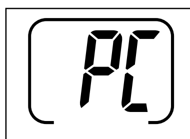
❺ 任意の場所にコピーした「GUIDE_JPN」をダブルクリックすると「KD-210Zユーザーズガイド」が表示されます。

画像を転送する

❶ パソコンの電源を入れます。

❷ 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

❸ カメラ上面のメインスイッチを[カメラ]、M[カメラ]、[再生]、SETのいずれかにセットします。
ステータスLCDに「PC」と表示されます。



❹「名称未設定」アイコンがデスクトップ上に現われます。

❺「DCIM」フォルダをダブルクリックします。

❻「100konic」をダブルクリックすると、画像ファイルのアイコンが表示されます。

参考：
*「100konic」の最初の3ケタの数字は、カード内に存在するディレクトリにより異なります。

❼ ファイルをダブルクリックすると、画像が表示されます。
保存する場合は、ドラッグアンドドロップで任意の場所にコピーしてください。

⚠ 注意

- カードアクセスLED点灯中は、USBケーブルを抜いたり、電池／カード蓋を開けたり、ACアダプター（別売）を抜いたりしないでください。また、パソコンでフォーマットしないでください。データが破損する場合があります。
- 必要に応じて、画像ファイルをハードディスクなど他のメディアにコピーしたり消去することができます。ご使用のＯＳの取扱説明書をご参照ください。
なお、この操作により生じた損害、障害についての保証・責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。
- 大切なデータは必ずバックアップを取ってください。
- カメラで設定したプロテクト設定は、ファイルの読み出し専用属性をセットしたものです。パソコンでこの属性を変更した場合、カメラで設定したプロテクト設定は無効となってしまいますので、十分ご注意ください。
- SDメモリーカード／マルチメディアカードをカメラに入れても、カメラ以外の機器で変更したり新しく入れたりした画像は、カメラで再生できないばかりでなく、カメラの機能に支障をきたすことがあります。
- パソコンでSDメモリーカード／マルチメディアカードに保存されている画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のファイルを書き込んだりしないでください。

第 8 章　付録

海外旅行にお持ちになる場合

専用 AC アダプター（別売：DR-AC2）の使用について

・ AC アダプター本体は、表示された電源電圧（AC100V ～ AC240V）以外の電圧で使用しないでください。
・ 電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターを、あらかじめ旅行代理店などでご確認の上ご用意ください。

保証書について

・ 本機は国内仕様です。付属している保証書は、日本国内でのみ有効です。
・ 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよび、その費用については、ご容赦ください。

お手入れと保管について

お手入れ時のお願い

お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。
・ お手入れの際は、まず電池を取り出すか、またはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
・ 外装ケースの表面は塗装や印刷がしてあります。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると、変色したり、塗装や印刷がはげることがあります。
・ 汚れたときは、柔らかい乾いた布でほこりを拭いてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤（台所用）に布を浸し、よく絞ってから拭いて、乾いた布で仕上げてください。
・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

使用後のお願い

長時間使わないときは、電池を取り出すか、またはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

・ 長時間電池を入れたままにすると、液もれを起こし、故障の原因となります。
・ 保管するときは、本機・電池とも、涼しく湿気の少ない、なるべく温度の一定した所に保管してください。
  推奨温度：15℃～25℃
  推奨湿度：40%～60%

SDメモリーカード／マルチメディアカードについて

取り扱いについて

・ 曲げたり、強い力や衝撃を加えないでください。
・ 湿度の高い所、ほこりや湿気の多い所、静電気や電磁波の発生しやすい所に保管しないでください。
・ 端子部にゴミや水、異物を付着させないでください。

画像データについて

・ 他機種やパソコンで記録された画像やファイルの消去はパソコンで行ってください。
・ お客様または第三者がSDメモリーカード／マルチメディアカードの使い方を誤ったり、SDメモリーカード／マルチメディアカードが静電気や電気的ショックなどで影響を受けたり、故障や修理したときに、記録したデータが消滅することがあります。
  記録したデータの消滅による損害については、当社では一切責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

液晶モニターについて

・ 液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。99.98%以上の有効画素がありますが、0.02%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
・ 寒い所で使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなりますが、本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
・ 指紋やほこりなどが付着して汚れたときは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

故障かな？と思ったら

● 下表に従って点検しても直らないときは、お買い上げの販売店または当社サービスステーション（p.81 参照）にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・AC アダプターが正しく接続されていない ・電池の電極やカメラの金属接片が汚れている	11、15 16 17 11、17
	電源を入れてもすぐに切れる	・電池が消耗している ・電池の電極やカメラの金属接片が汚れている ・低い温度の所で使用している ・充電されていない新品のニッケル水素電池を使用している	11、15、17 11、17 79 11
撮影	シャッターボタンを押しても撮れない	・メインスイッチが 📷、M📷 になっていない ・撮影可能な SD メモリーカード／マルチメディアカードが入っていない ・SD メモリーカードがライトプロテクトされている ・撮影可能枚数いっぱいに撮っている →不要な画像は消去してください ・セルフタイマー撮影になっている ・フラッシュ充電中→少しお待ちください	23、36 26、63 10 26、28、50 34 22
	液晶モニターの表示や画像がはっきりしない	・液晶モニターの明るさ調整が合っていない ・指紋やほこりがついている	35、43 76
	ピントが合わない	・被写体が中央にない ・ピントが合わせにくい被写体である ・前面カバーガラスが汚れている ・撮影モードと被写体との距離があっていない	25 33 75 22
	フラッシュが発光しない	・フラッシュモードが「発光禁止」になっている	31
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが調節できない状況で撮った	41
	撮影枚数が少ないのに電池切れになる	・単３形アルカリ乾電池を使用している ・新品電池ではない（電池の残量が少ない） ・電池の電極やカメラの金属接片が汚れている	11、17 17 11、17

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
再生	再生できない	・メインスイッチが ▶ になっていない ・連続して撮影した ・撮影済みの SD メモリーカード／マルチメディアカードが入っていない ・撮影済みの SD メモリーカード／マルチメディアカードの画像をすべて消去した	46 26 46 51、63
	再生時間が短いのに電池切れになる	・新品電池ではない（電池の残量が少ない） ・単３形アルカリ乾電池を使用している ・電池の電極やカメラの金属接片が汚れている	17 11、17 11、17
その他	電源を入れても日付が正しく表示されない	・電池交換時のバックアップ可能時間は約 15 分です。それ以上経過していたら日付を再設定してください。	20
	パソコンに転送できない	・パソコンと正しく接続されていない ・カメラ本体のメインスイッチが OFF になっている	67 71、72

エラーメッセージ

● ステータスLCD上の残りコマ数表示が「Err」になり、ステータスLCD上のマークすべてが点滅した場合は、エラーが発生しています。以下の方法を順に行ってください。

(1) メインスイッチを OFF にする

ここでメインスイッチを OFF 以外にします。これでも機能が回復しない場合は、

(2) AC アダプターを使用していたら、接続を外す（p.17 参照）
(3) 電池をすべて外す（p.16 参照）
(4) 新しい電池を入れる（p.16 参照）

以上の方法を行った後も同じようなエラー症状が発生する場合は、お買上げ店または、当社サービスステーションにお問い合わせください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

主な仕様

形式	： デジタルスチルカメラ
有効画素数	： 195 万画素
記録媒体	： SD メモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数 （SD メモリーカード 8MB 時）	： スーパーファイン　1600 × 1200 pixel（約 17 枚（低圧縮時約 9 枚）） ファイン　1280 × 960 pixel（約 26 枚（低圧縮時約 16 枚）） エコノミー　640 × 480 pixel（約 60 枚（低圧縮時約 32 枚）） ムービー 320 x 240 pixel（最大 30 秒／回） 160 x 120 pixel（最大 60 秒／回）
記録方式	： JPEG 準拠（Exif ver.2.1）DPOF 対応（注 1）
画像フォーマット	： Design rule for Camera File system（DCF）対応（注 2）準拠
撮像素子	： 1/2.7 インチ 総画素数 211 万画素原色 CCD
レンズ	： f=5.4 ～ 16.2mm、F 2.8(W) ～ 4.6(T) （35mm フィルムカメラ換算で f=35 ～ 105mm 相当）
焦点調節	： CCD 像面オートフォーカス
撮影範囲	： 0.25m ～∞（近接撮影モード時、0.25m ～ 0.8m） （通常撮影時、0.8m ～∞）
露出制御	： プログラム AE
測光	： 中央重点測光（通常設定）、スポット測光
ホワイトバランス	： オート、昼光、白熱灯、フラッシュ、蛍光灯
シャッタースピード	： メカシャッター・CCD 電子シャッター併用 1/8 ～ 1/2000sec（スローシャッター ON 時 2 ～ 1/2000 sec）
ファインダー	： 光学実像式ファインダー
フラッシュ	： 内蔵自動調光フラッシュ フラッシュ撮影範囲；WIDE：0.8 ～ 3.0m　TELE：0.8 ～ 2.0m 赤目軽減／ AUTO ／ ON ／ OFF を選択可能
撮影モード	： 単写／セルフタイマー(10 秒、3 秒)／マクロ／遠景／ ポートレート夜景／白黒／デジタルズーム（x1.5、x2.0、x2.5）／ ムービー(320 x 240, 160 x 120)
液晶モニター	： 1.5 インチ低温ポリシリコン TFT カラー液晶モニター
再生	： 1 コマ／クローズアップ再生（x2、x4）／ムービー再生／ インデックス再生／スライドショー再生
消去	： 1 コマ／全コマ／フォーマット
LED 表示	： セルフタイマー LED、ファインダー LED、カードアクセス LED
ブザー	： 各種警告、撮影時
オートデート機能	： 年月日時分を記録
電源	： 単 3 形アルカリ乾電池（2 本）、単 3 形ニッケル水素電池（2 本）、 CR-V3 リチウム電池（1 本）、または専用 AC アダプター（DC 3V）
入出力端子	： USB 端子、AC アダプター電源入力端子
動作温度	： 5℃～ 45℃（湿度 20%～ 80%ＲＨ）
大きさ（W × H × D）	： 100 × 61.5 × 30.5mm（突起部含まず）
質量	： 約 170 g（電池、SD メモリーカード含まず）
付属品	： SD メモリーカード（8MB）、単 3 形アルカリ乾電池（2 本）、ストラップ、CD-ROM、USB ケーブル、クイックガイド、保証書、コニカカード
別売アクセサリー	： AC アダプター、専用カメラケース

電池寿命の目安（参考）

	撮影（液晶モニター ON 時）	撮影（液晶モニター OFF 時）	連続再生時間
単 3 形アルカリ乾電池	約 130 枚	約 260 枚	約 65 分
単 3 形ニッケル水素充電池	約 200 枚	約 400 枚	約 75 分
CR-V3 リチウム電池	約 500 枚	約 1,250 枚	約 300 分

＊弊社測定条件　（常温常湿／画質：スーパファインモード／フラッシュ：2 回に 1 回フル発光／撮影動作：20 秒間隔での連続撮影／ズーム動作：撮影ごとに毎回片道）

（注）電池寿命の目安については p.11、17 の「注意」をよくお読み下さい。

注 1）DPOF とは、キャノン株式会社、コダック株式会社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社の 4 社で規定したデジタルプリントオーダーフォーマット。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などの指定情報を記録媒体に記録するための規格『Digital Print Order Format』の略称です。

注 2）DCF とは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡単に利用しあうことを目的として規定された（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格『Design rule for Camera File system』の略称です。

保証とアフターサービス

修理お取り扱い･お手入れなどのご相談はまずお買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書（別添付）

お買い上げの販売店から、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずご確認の上お受け取りになり、よくお読みになったあと保存してください。
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

保証期間中は

万一保証期間中に故障した場合は、製品に保証書を添えて、当社サービスステーションまたはお買い上げ店にお持ちください。保証書に記載されている保証規定の範囲内で無料修理をいたします。なお、保証期間中でも、保証書の添付がない場合、または保証書に販売店およびお買い上げ年月日が記入されていない場合は､有料になります。
また、使用上の誤り、当社以外での修理・改造・分解による故障、保管上の不備による故障、砂泥かぶり、浸冠水、衝撃、落下、火災などの事故による故障は、保証の対象にならないだけでなく､著しく損傷したものは､ほとんど機能の修復は望めません。
当社サービスステーションにご相談ください。

保証期間が過ぎているときは

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、８年間を目安に保有し、原則として、本期間中は有料にて修理をお受けいたします。なお、期間後でも、修理可能な場合もありますので、当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼されるとき

P.77、P.78 の表に従ってご確認のあと、直らないときは、接続している電源を外してから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

注意：

- **修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、また、ご送付される場合の送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は、適切な梱包の上、紛失防止のため、受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅急便）をご利用ください。**
- **この製品の保証・修理・サービスは、日本国内でのみ有効です。従いまして、海外で故障・不具合が生じた場合は、ご帰国後、日本国内の当社サービスステーションまでお持ちください。**

KD-210Z 本体に関する技術的なお問い合わせは ...

● 株式会社コニカサービス　サポートセンター

住所：　〒 191-0003　東京都日野市日野台 5-22-17
TEL：　042-587-1044
FAX：　042-584-7556

● 電話での受付時間のご案内

10 時～ 17 時

● 休業のご案内

土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇）

KD-210Z 本体の修理に関するお問い合わせは ...

● サービスステーション（本製品についてのお問い合わせ・カメラ修理の受付窓口）

東京（新宿）	160-0022	東京都新宿区新宿 3-26-11 新宿高野ビル 4F	TEL(03)5269-0691（代）
大阪	541-0059	大阪市中央区博労町 4-4-1 コニカ大阪ビル 3F	TEL(06)6253-0251（代）
名古屋	460-0008	名古屋市中区栄 2-3-1 名古屋情報センタービル 3F	TEL(052)221-8950（代）
福岡	812-0011	福岡市博多区博多駅前 1-4-4 安田生命博多ビル 8F	TEL(092)451-4810（代）
札幌	060-0003	札幌市中央区北三条西 1-1-1 ナショナルビル 7F	TEL(011)271-6434（代）
仙台	983-0852	仙台市宮城野区榴岡 5-12-55 NAVIS ビル 4F	TEL(022)298-9050（代）
広島	730-0037	広島市中区中町 8-6 フジタビル 1F	TEL(082)249-4116（代）

● 営業時間のご案内

新宿　10：30 ～ 18：30、その他　9：00 ～ 17；25
・詳しくはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

● 休業のご案内

土・日曜日・祝日
その他の休業日（年末、年始、夏期休暇、新宿は特別休館日もあります。）

＊コニカホームページ　http://www.konica.co.jp/

8
付録

Konica

コニカ株式会社

〒163-0512　東京都新宿区西新宿1-26-2　新宿野村ビル